京城日報

本紙定價　壹ケ月七拾五錢▲郵税 三ケ月前金貳圓拾五錢▲六ケ月前金四圓拾錢▲一ケ年同八圓▲郵券代用一割増
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五拾錢▲二號二十字詰一行二圓▲四號十七字詰同▲六號…
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　…　振替貯金口座京城…番

八月十九日夕刊　(朝夕併せて八頁)

◇聯合軍チ軍 我指揮下に隷屬

沿海州派遣の聯合軍及び在沿海州のチ軍並に反過激派軍は何れも我派遣軍司令官の指揮下に隷屬する事に決定せり(浦鹽電報)

◇露艦艇爆沈宣言 寧ろ獨逸と戰はん

蘇格蘭よりの報道によれば露國海兵は艦艇を見捨るよりは寧ろ獨逸と鬪ひ又露國軍艦を獨逸の手に委するより爆沈せしめんと宣告したり尚露國水兵はクロンスタットに於てレニン及びトロツキーを目撃したりと(華盛頓電報)

◇滿洲里攻擊中止 過激派軍防禦準備

ダウリヤ方面はその後別段形勢の變化なきも敵軍は大規模の防禦準備をなしつゝありマツエフスカヤ附近の敵陣地は新に陣容を立て直しオノン河にて木橋を架設して味方の退却に便ならしめんと企てつゝあり尚ほ過激派軍は已に滿洲里攻擊計畫中止せりと露紙は報ぜり(哈爾賓電報)

◇過激派遂に沒落か

駐露獨逸大使ヘルフエリツヒ氏は既報の如く莫斯科を退却せり而して英國に於ては過激派政府首相レニン氏等のクロンスタツトを逃れたりとの報道を以て過激派の事實上の沒落を意味するものなりと目しつゝあり(倫敦電報)

◇南伐決行不可能

天津會議にて南方討伐を決定したるも湖南の呉佩孚氏停戰を主張し曹錕氏南下の模樣無く張懷芝氏山東に留まり之れ亦南下の意無きを以て南伐決行は不可能なるが如し(北京特電)

◇穀類收用令規則施行

穀類收用令施行規則左の如く發布さる(東京特電)

第一條　穀類收用令に依る收用は收用せんとする米雜穀の專有者又は所有者に收用決定事項を交附したる時に其効力を生ず農商務大臣は收用を決定したる旨を官報に公告し又は市町村長をして市役所若しくは町村役場の揭示板に公告せしめ收用證の交附に代ふことを得

第二條　收用したる米雜穀は農商務大臣又は其指定したる者に於て引渡しを受くるに至る迄所有者又は其承繼人に於て之を保管するの義務あるものとす

第三條　收用したる米雜穀の所有者は收用後に於て穀類收用令第一條の規定に依る補償金の交附を請求することを得

第四條　左の各項の一に該當する場合に於ては農商務大臣又は其指定したる者は補償金供託を爲すことを得

一、補償金を受く可き者が其受領を拒みたる時又は之を受領すること能はざる事
二、補償金を受く可き者を確知すること能はざる時
三、穀類收用令第三條の規定に依り出訴したる時
四、補償金に就き差押へ又は假差押へありたる時

第五條　農商務大臣必要と認めたる時は第二條の專有者又は其承繼人に對し穀物檢査倉庫其他に必要なる行爲を命ずることを得此の場合に於て農商務大臣の必要と認むる費用は之を支拂ふものとす

第六條　本則の規程に依り農商務大臣に出す可き書類は所轄地方長官を經由すべし

第七條　農商務大臣は官吏又は吏員をして米雜穀の生產者、賣買業者、倉庫業者其他の專有者の營業諸倉庫保場等を臨檢し物品帳簿其の他の書類を檢査せしむるとを得前項の官吏又は吏員は當該官吏又は吏員たることを示すべき書面を携帶するものとす

第八條　左の各項の一に該當する者は二月以下の懲役又は百圓以下の罰金に處す

一、第二條第一項の規程に反して保管を爲さゞる者
二、第五條の規定に依る命令に從はざるもの
三、前條の規程に依る臨檢々査を拒みたる者又は臨檢々査の際訊問に對して陳述を爲さず若しくは虛僞の陳述をなしたるもの
四、物品帳簿其他の書類を隱匿し又は毀損したる者

第九條　農商務大臣其職權を地方長官に行はしむる場合に於ては本則中農商務大臣とあるは地方長官のこと官報とあるは之に準ず可きものに該當す

該規則は十九日より之を施行す

東京だより 北滿軍國の策動

八月十五日午後四時　東京支局にて　白蘇鐵

▲北滿洲に於ける軍國の策動は擬に締結せられたる日支軍事協約活現の一子を下せるものにして、兩國隔意なき理解に於て極東の大局を保全するの策其緒に就きたるものとして慶祝の念に堪へず。日支の國際關係は啻にその軍事上の努力を必要とするのみならず特に經濟上に於て、更に進みて政治上に於て、其協同を要求する所以のもの多大なるに際し、今次の軍國の策動が東洋の和平を中心とせる兩國の諒解の上に更に悦ぶべき進展を齎さん事を希はざる能はず

▲初め獨墺俘虜の露支國境を脅かすや、木撚をイルクツクに置き獨將タウベの下に赤衞軍及び獨墺俘虜より成る三箇大隊を一箇聯隊とする卅三箇聯隊約五萬の兵を編制し以て全西伯利亞を脅かさんとし、所在の過激派と相呼應し、西は東進しつゝあるチエツク軍を阻止し、東は北上せんとするニコリスクのチエツク軍とカルイムコフ枝隊との聯合軍に抗し、中部露支國境に於てはセミヨノフ軍と對戰して最近これを壓迫急擊し、ために滿洲里の商舖はその馬蹄の下に慘害を受け特に邦人商店の如き破壞の狀慘憺たるものあり

▲獨逸の亞細亞政策は、最近に於て、所謂バグダツドを據點として印度を經略せんとするの計畫より轉じて、現時散在せる獨墺俘虜を利用して大いに西伯利亞に進出し支那の後背を脅かさんとするの策を得たるもの、如く機鋒所在に蹶現して、我が西鄰の大國は將に、多事困憊の國勢を提げて是れが應接に暇あらざらんとす

▲由來、西伯利亞は、地域廣くして人文の塑鍵未だ入らず、經濟上の資源の豐富なる窮く可きものあり、實に、大支那と共に、戰後列國が競うてその開拓の手を延ぶるの二大經濟地域といふを妨げず今、獨逸の手此の二大地域に觸れんとして已に支那國境を亂る。我が國軍の策動がこれらの勢力の跳梁を抑制せんとするは單り、その、目前、極東の平和を攪亂するが爲めと言ふのみに非ざる也。

◎佛國戰後準備

佛國政府の對時局的經濟問題の解決は最近著るしく巧妙を加ふるに至りしのみならず今や同政府は戰後の經濟問題の研究に全力を傾倒しつゝあり佛國民も亦今回の戰役に依り自己の科學的及び技術的能力に於て確信を增加し戰後之を平和的工業に應用せんとの抱負一般に盛んなるものあるが現在佛國に於て重要視されつゝある問題は敵軍より回復したる占領地を發達せしむる爲に政府に於て、金融上の援助を與へんとするの計畫にして更に佛國經濟界に於ける最暗黑點は露國の現狀に關するものにして千八百九十六年廢帝ニコラス二世が佛露兩國の親交を增進すべく巴里を訪問してより以來露國公債の佛國に於て募集せられしもの百五十億法あれば佛國が此點に於て憂慮するは當然の事なるが然も銀行業者其他保守的政治家はペトログラード又は莫斯科に於て有力なる政府の確立せらるゝに至らば外債の支拂ひは疑ふ餘地なしとして樂觀的に將來を見越居れり(東京)

◎特別會計豫算 査定完了

九月下旬大藏省に提出

大正八年度總督府特別會計豫算は各部提出の分を取纏め度支部に於て査定を行ひつゝありしが此の程完了し既に鈴木度支部長官の手許に終りたるを以て十九日二十日の兩日中に總督の手許に廻附裁閲を受く可き運びとなり居れるが拓殖局を經て大藏省に提出するは九月下旬頃なる可しと

◎先づ食料の調節

東京商業會議所會頭　藤山雷太氏談

目下の最大問題たる米價の調節に就きては唯に米價そのもの、みの單純なる問題を以て議すべきに非ず全般の物價調節を圖ることが根本問題である、即ち兌換券の收縮を爲すとか或は政策の更新を圖るとか其の根本問題は多岐に亘るものありと雖も、差當り今日の紛擾を惹起したる以上は兎に角此の食料問題が總ての社會問題の紛糾を來す原因ともなり又既に其の形勢の目睹さるゝに至つては、我々實業家並に所謂上流社會のものは寸時も之を默視する譯には行かぬのである、故に此等の人々の充分なる同情を喚び起し以て生活の安定を策し毫も食料に對する憂ひ無からしめんことを圖ることが現下最喫緊の急務である、即ち關西地方並に東京方面の騷擾を鎭定するには唯だ此の食料を廉價に得られるやうにするにあるので、今此の趣旨を實現し目的を貫徹せんが爲めに我々實業家は率先して臨時救濟會なるものを設立した、そして最下級より中流の人に對して米を安價に販賣する、是れ食料に對する憂ひを除くと共に各業務に安んじて精勵せしむる所以である、結局此の生活の困難なからしむるために其の經濟の道を社會的に講ずることが、我々實業家の義務である、茲に於てか富豪並に家產の餘裕を有する人、殊に時局に處して莫大な利益を贏ち得た人々の寄附を希望する次第である、此の臨時救濟會の仕事なるものは官からの命を受けて始めたことではない、自ら立つた自發的の方策に外ならぬのである、今や勃發する所の各所の暴動は遂には容易ならぬ經濟問題を惹き起すに至らんやも圖り知るべからざれば、この方策をして一日も早く其の効果を擧げしむるに至らんことを切望して止まざる次第である(東京支局)

◎總督晩餐會 新任各武官紹介

長谷川總督は軍司令官宇都宮中將、第十九師團長高島中將、第四十旅團長内野少將及び總督附武官村田少將等を紹介の爲め二十二日午後七時より總督官邸に前記各武官及び在京城各勅任官以上の官吏を招待し晩餐會を催す可しと

◎朝鮮民間工場調査 工場數一千三百五十八箇所

大正六年末現在民間工場にして原動力を有するもの及び一箇年の生產額五千圓以上のもの並に職工徒弟を合せ製造期間に於て平均一日五人以上を使役するものに付調査の結果を聞くに工場數一千三百五十八資本總額三千九百三萬八千九百六十六圓從業者數四萬一千五百十二機關數六百十九馬力二萬六千百七十にして

▲之が生產額は九千八百九十七萬二千百八十九圓に達せり之を過去三十年間に於る工場の狀況と比較對照せば左の如き進步を示せり

年次	工場增加數	資本金	職工數	生產額增加額
三年	七〇	二二、六六七、一三四圓	二〇、五四九	六六、二二七、三九〇圓
四年	五七五	一七、九二五、三五九	一六、九七三	五三、〇四一、〇五四
五年	二八五	一四、四二五、四六六	一一、八六六	三九、九四五、五四八

今業態別に付大正六年中に於る盛衰の狀況を概說すれば小規模の雜業に於て七箇所の減少を來せる外各業共に增加を示し其增加の著しきものは製穀業六十六、金工業四十六、窯業四十二、製紙業三十九、染織業二十三、釀造業二十一、土工業十、罐詰業八箇所を增し其の他

▲大規模の工場 にして製綿業二、瓦斯電氣業三、精錬業二箇所の增設を見るに至り工場資本金の總額二千百十七萬圓生產總額三…

◎特定運賃改正

滿鐵京城管理局にては九月一日より局線發牛骨牛皮牛脂の特定賃金改正を實施する旨十八日附を以て公表せしが改正の内容は内地鐵道院線の賃率引上に伴ふものにて朝鮮線内の運賃は何等動かされずと

◎鮮銀株主總會

朝鮮銀行にては豫報の如く二十日東京銀行集會所に定時株主總會を開會し前年季決算案益金分配案二千萬圓の增資案三島木村兩理事の任期滿了近きに付改選案等を附議すべしと

業別工場を示せば左の如し

業別	工場數	資本金	職工數	生產額
染織	八三	三三、一〇四	三、三〇九	六二九、五一四
製絲	二	四三、〇〇〇	一四二	四〇、一二五
製綿	二	六、七六七、三三九	二、二八五	六、一七三、一七三
パルプ	一	―	四一五	一二九、六〇〇
製紙	五四	三〇、八八六	四二九	七二、五三八
皮革製品	四五	二、〇四三、九三六	一、〇五〇	三、七六〇、八〇二
窯業	一八二	一、六四四、二〇〇	三、四三八	八〇一、二九四
石鹼	一〇	一一七、七〇〇	七〇	一五九、一七八
蠟燭	四	二九、五〇〇	七〇	三〇一、〇〇〇
マッチ	一	七、〇〇〇	四六	三〇、〇〇〇
染料	一	四〇、〇〇〇	三二	九八、四三七
肥料	四	二八、〇〇〇	一九五	一六五、〇一二
金工	一六三	四八一、五二〇	二、六六八	一、九六九、四二四
木工	三三	一一四、三七七	三三六	一七九、二九三
製材	二六	三九六、〇〇〇	二六	一三〇、一九五
船舶製造	八	五四、五〇〇	一一四	九〇、七七九
貝細工	八	一三、〇五〇	七二	二五、一六九
製穀	二九七	四、〇九六、一八八	九、六二四	四七、三七三、〇一四
製粉	一〇	一三三、六四〇	九一	一七二、五六二
藥劑	七	八七、五〇〇	四一	五九、八七八
菓子	二九	八二、七五〇	一五四	二九一、〇九六
煙草	一六	二、四二六、二九三	五、二三六	六、五五五、九五九
釀造	一七	二、〇九二、四八五	九四二	一、九八五、八九七
清涼飲料	六	三四、五〇〇	六八	六七、六三五
製氷	一	一〇、〇〇〇	一四	三〇、〇〇〇
製醬	一五	三九八、一五〇	四五八	六七六、七七三
罐詰	二三	二〇一、六三一	七一四	四五〇、五四三
寒天	二	四二、〇〇〇	三五	九七、〇〇〇
印刷	七〇	七二一、〇七五	一、七七七	一、四六五、五六〇
裁縫	三四	三〇五、二〇〇	四六二	五九〇、四七八
精錬	三五	一、〇五五、一三七	六二〇	二〇、七八六、九四一
瓦斯電氣	二一	五、六三七、二八一	四四九	二、三三五、五〇八
其他	二九	二三三、一〇七〇	七一二	二七、七一一
合計	一、三五八	三九、〇三八、九六六	四一、五一二	九八、九七二、一八七

◎廿餘年振りの來鮮 高嶋第十九師團長車中談

新任第十九師團長子爵高島友武中將の入京を京釜線に迎ふ、短軀精悍の人凝滯なき調子で語る

▲廿餘年振り 恰度廿餘年振りの來鮮である、往事を追懷するに茫として夢の如しだ、何のために朝鮮に來たのかと云ふに日清戰後英國が威海衛を租借するまで同地に日本軍の守備隊がゐた、吾輩は故西寛二郎少將の部下の一大尉として同地に駐屯してゐる内、近衞師團に轉任を命ぜられ同じく内地轉任の同僚十五六名と共に歸還する途中、御用船が仁川に寄港したので仁川から船で龍山に上り京城を訪ふたのであつた、當時公使は林權助男書記官は日置益氏であつたと思ふ、三國干涉後のすぐ後の事だし

▲露國勢力 の南下の大いに現はれた時だから京城に於ける帝國の勢力は露國の昂進のために凹まされてゐて血氣に逸る予等は甚だしく憤慨したものだつた、公使館の諸君も日本の武官十數名がやつて來たのだから少し京城の各方面をまはつて威武を示して欲しいなどと云つてゐた、爾來星霜二十餘年を閲し、皐化に霑ふ朝鮮の土を踏んで當時の記憶を喚び起すこそに言ふべからざる快感が湧く

▲我兵力の出動 浦鹽派遣軍司令部も既に上陸したらしい、又滿洲里方面にも滿洲の守備軍を動かすやうになつたやうだ、恐らく既に移動に着手したであらう、吾輩等も軍人である以上戰爭に出たいのは當然の話だが今回出征の選に洩れたのは必ずしも大なる遺憾はないやうな氣がする、と云ふのは何しろ敵手が瞭然してない、獨墺俘虜軍があれば無論立派な敵だらうが露國の過激軍の如き普通の露軍並に露人との間の見分けは難事だらう、差し向き哨兵の如きその判知に大なる苦心を要する事と思はれる、先づ今回の帝國兵力の出動は守備の幾分大きいのと見てよからう

▲大阪の事務引繼 前十九師團長立花中將は十二日大阪に着任されたので予は十四日中將を師團司令部にお訪ねして事務の申し繼ぎを受けた、恰も例の米暴動の猖獗を極めて居た際で、將軍も着任以來數日間は夜も碌々眠れぬ程多忙を極めたやうだつた、吾輩がお訪ねしてゐる時も大阪府知事が來てゐて暴動鎭壓に關する軍隊の出動並に處置に付色々と要求をしてゐた、然しその暴動も予の京都を發する十七日の夜頃から漸次鎭靜に歸してゐたやうだから恐らくもう平和になつたであらう

▲京都より京城 今回の陸軍異動で京都の第十六師團から京城に轉じた者が多い、武官の村田信乃少將、軍高級副官の平澤中佐、軍參謀部附の平松少佐及び吾輩の四名である、これは畏れ多い話しだが師團長が梨本宮殿下で入らせられ遠からず姬宮の御誕生を見る御嫁ぎ御治定のやうに承はるから、吾輩等はその先驅に行くのだと或人に吾輩は話したよなことであり鮮人の生活狀態や朝鮮の米作などに就き質問を重ねてゐた

◎新師團長著任

新任第十九師團長子爵高島友武中將は夫人令孃同伴十九日午前九時十五分南大門驛着列車にて公式に著任途中迄出迎へし佐藤師團高級參謀と馬車に同乘騎兵一個小隊の儀仗に前驅後衛され順路を第十九師團司令部に向ひしが沿道には步兵第七十八聯隊騎砲兵各中隊の堵列あり軍司令部構内より砲兵隊の禮砲發射あり停車場には芳賀院長、兒島政務總長、市川、内野各少將、廣瀨經理、佐藤軍醫兩部長以下軍師團の所屬將校久保滿鐵松崎朝鮮、高野三井、馬詰東亞並に將校夫人其の他の出迎へ多かりき

▲師團の伺候式 [illegible]十九師團長十九日朝著任に付午前十時より師團司令部にて白石參謀長以下步兵第七十九聯隊騎兵中隊砲兵中隊所屬將校全部の伺候式ありたり

◎職工徒弟養成

滿鐵京城管理局工場長黑澤氏が職工徒弟養成の計畫を爲しつゝある事は既報せしが右は恰も來年度より京城管理局の鐵道學校開設に付同校附屬學校として徒弟科を置き技術養成に必須なる學科を授くる事とし修業年限を一箇年に定め每年一回約五十名を入學せしむべく程度は尋常小學校卒業生並に普通學校卒業生以上の學力を有する者にて木工金工其他各科に分つべしと

◎木浦港在米潤澤

木浦にては十五日府内の在米調査を爲したるが其結果によれば現在の府内在米は内地其他へ移出約定の分を除き新穀出廻り迄府内住民が消費するに充分なる數量を有するやにて木浦の米價昂騰は在米の不足に基因せざる事判明したるが府當局者は各地の狀況に鑑み此際米穀業者の德義心に訴へ他へ移出を企てんとせば同數量の米穀を他地方の貯米者より搬入の上移出すべく常に木浦の在米に減少を來さざる樣注意す可内通牒を發せりと

◎開城驛問題陳情

既報の如く開城有志四十名は同地停車場移轉問題に關し協議の結果久保田開城面長、朴宇鉉、臼井水城の三氏有志を代表して十九日午前入京滿鐵京管寺に出頭安藤運輸課長石井技師に面會陳情する所ありたりと

人事消息

▲關澤京畿道務部長　別府に入湯中のところ十八日歸任
▲深尾道恕氏(黃海道事務官)　十八日夜入京巳城館へ
▲赤澤辰三郎氏(釜山憲兵分隊長)　十八日赴任
▲小林砲兵中佐(新任元山要塞司令官)　十八日元山へ
▲田中保平氏(山口高商講師)　十九日朝入京不知火へ
▲茂木順三郎氏(千葉縣野田醬油支配人)　同上山本旅館へ
▲矢橋小蔵氏(滿洲日々新聞從軍記者)　十九日夜通過浦鹽へ
▲高石政次郎氏(農務課技師)　農事狀況視察の爲平安南北道へ出張を命ぜらる

茶前酒後

◆近世交通文明の發達より、地球上に於ける、各國の距離短縮せられ、種々の流行も、世界的となれるもの多し。食料暴動等も、聊か世界的流行の觀あり。交戰國は最も此點に於て、中立國に迄波及す。多くの國は此の點に於て、世界の形勢には、沒交涉なる波斯の首府テヘランにも先月食料暴動あり、直ちに戒嚴令布かれたりと。日本の暴動にも、波斯人は定めし感心しつゝあるべし。

◆大谷光瑞氏の計畫なる、南洋開發の、第一步として送られたる、光洋丸は、處女航海の途中、沈沒の悲運に陷れり。一代の偉業が、一大の壯擧に際し、此の不幸あるは、洵に同情すべしと雖も、計畫者と、此の悲慘事を併觀すれば、更に偉人の壯擧に、壯を添ふるの觀ありて、希臘の歷史にでも有り相也。

◆さはれ光洋丸沈沒が、乘組廣東人の行爲に因し、不幸なる人々は日本人に多く、廣東人は皆禍災を脫すと。先年のノルマントン號事件を憶ふ。

◆人は心掛にありとは、頗る平凡なるも、此の平凡を打破すべきものなき以上、平凡は平凡たりとも、遂に格言たるを失はず。又平凡なるが故に、格言となす能はずとも云へざる也。

◆お得意先の急用とて、米袋を擔ぎ、自轉車を飛ばせし田舍出の米屋の小僧、交番の警官にお目玉を頂戴し、且つ罰金に處せらるゝや大に憤慨し。斯る場合に於て、所謂人民に便宜を與へ、親切なる警官とならん事を期し、奮發大いに努めたる結果、今は押しも押されもせぬ、堂々たる警視となれるは、東京向島警察署長、小泉惣次郎君也。此人などは、所謂平凡なる格言を實地に行ひし人也。米屋の小僧君、雜貨屋の用聞君、大いに奮發して可なり。

◉給仕採用
年齡十五六歲高等小學卒業程度の者二名
採用希望者は履歷書携帶本人來談あれ但し市内に保證人を要す
第一銀行京城支店

男女 一代觀相
每日午前中南山…出張姓名年齡語るに及ばず遠隔地は寫眞郵送
京城旭町一丁目…出張所

◈石材採取販賣◈
採石場　高陽郡崇仁面城北里(東小門外より三丁目北へ入る)
販賣所　京城蓮池洞百八十八番地　丸二組
土木建築請負業　山本春彌　電話一六〇四番

動力掛 水力掛 無砂精米麥機
本社獨特に斯界を風靡したる天下逸品トーア式人力精米麥機を發賣し多大の好評を博し今回更に動力掛精米麥機を完成し其紀念として永久賃附割拂に應じ御相談
各地に特約店を設置す希望者は至急申込あれ
詳細圖入說明書營業案內送呈
大阪西區市岡町　製造元　東亞物產社

輸出入業並に代理業
(本社)釜山府本町四丁目卅五番地
田中善株式會社
(支店)大連市監部通二丁目　(出張員)京城本町二丁目　奉天昭德大街

田中善株式會社代理店
同和棉行
(本店)京城府本町二丁目卅四番地　(支店)奉天城内鐘樓南
(營業要目)絹綿毛麻各種織維工業品其原料品及雜貨並に特種產物の輸移出入、一般代理業

内科 小兒科
呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス
京城本町二丁目四十五番地　電話二八八〇番
山田病院　院主　山田萬作

株界のバロメートルは?
戰勝の要諦は兵力の一點集中にあり株界の優勝又然らざらんや今株界のバロメートルは押目買を示す=發會以來常に買のみに依り每回年七割乃至八十割の好配當をなせるが故に過般第七回組織に當りても亦參加の士翕然として稀有の盛觀を呈す而も尚參加漏れの聲あり茲に廣く江湖の眷顧に酬ゆべく次て第八回組織を宣す。
▣加入金一口金五十圓　▣申込期間　八月二十日
第八回 株式買同氣會
東新 商船新
日本信託商會證券部
會則贈呈
大阪市北區堂島濱通一丁目二　電話北長九七二　振替大阪四〇五六九

月收五十圓以上二百圓内外
本道下代理店支配人招聘
日用必需品の販賣供給機關として各方面より多大なる好評を以て迎へられつゝある本組合は本道下各地に本組合の供給特約店を設置し… [illegible]

表間時 [illegible]
大正七年七月一日改正現行

◎五升券が一番好く賣れた
廉賣初日の成績　總販賣高四百石に達す

京城救濟會に於て廉賣を開始せる十八日は既記の如く非常の好況を呈し午後四時廉賣締切り後係員は各々廉賣所前に締切り集計を見んとせしが何分一升券二升券五升券の三種により更に石拔米、石不拔米、外國米の種類に從つて廉賣券の枚數即ち人員と廉賣石高との集計引合せを爲すに一方ならず骨を折れりと今其の廉賣初日賣出石數人員を聞くに左の如し

▽第一日の…… 賣捌き高

先づ内地人向石拔米に在りては一升券百五十二枚一石五斗二升、二升券三百八十二枚七石六斗四升、五升券一千九百四枚九十五石二斗を算せり之れを以て觀れば五升券購入者の數最は他の一升券二升券購求者よりも遙に高き計數を表はし五升券の賣行状況如何に激甚なりしかを知るべし次ぎに朝鮮人向石不拔白米に在りては一升券一千七十七枚十石七斗七升、二升券二千八百六十九枚五十七石三斗八升、五升券三千三百六十六枚百六十八石三斗の賣行を示せり即ち鮮人向石不拔米に於いても内地人向白米と等しく五升券賣行の盛況は他の一升券二升券の比にあらざりしを見る、次に外國米に在りては二升券七百四枚十四石八升（外國米は二升券の一種に限られあり）を算せるのみにして其の賣行振はざるを知るべし總計石數三百五十四石八斗九升にして此の廉賣券發賣枚數一萬四百五十四枚を數へたり當日の廉賣配給米は總石高五百石なるが内約四百石の賣行を見たるは甚だしき好成績と云ふべし以上は府内京城龍山九箇所に於ける廉賣所の總扱ひ高なり

▽若草町 廉賣所廢止 日の出校に新設

若草町西本願寺廉賣所は第一日の經驗に據れば主として内地人側の廉賣所たる觀あり其の設備の如きも他の廉賣所に比し著るしく不便なるものあり殊に全くの露天にて加ふるに其の位置適當ならずと言ふを得ざる點ありたれば理事者に於ては大いに考ふる所あり愈々廉賣開始三日たる廿日より若草町西本願寺廉賣所を廢し日の出町日の出小學校内に變更する事と決定せりと

△恥と思ふは大間違ひ
氣兼せずに廉賣米を購へ

京城救濟會評議員の一人は語つて曰く『廉賣は米價を調節したいと云ふ意味から見るも有力なる方法の一つである筈である、即ち多少でも

▽此際遊金 を擁持して居るものがあるならば其を救濟會へ投げ出して自分自身廉賣米を食ふる事になれば良いのである、救濟會は時價を以て高價なる米を買ひ之れを時價より十錢安を以て一般人士に分つものなるが故に如何なる人と雖も盛んに廉賣を受けるがよい是を恥のやうに思ふのは大間違ひである廉賣と云ふ事は唯單に

▽細民救濟 のみと云ふ事をのみ意味するものでは決してない全く之を以て狂騰せる昨今の米價を調節し樣と云ふ意味を含んで居る事を忘れてはならぬ、かるが故に米屋の辭として他に二錢三錢の手數料を出し人を派して廉賣米を買占めんとするが如き手合は片ッ端から警察力に據つてでも取締るべき必要がある幾ら

▽篤志家が 一方に廉賣を始めて利便を圖つても一方に依然高價なる米價に甘んじて米屋の米を食ふものがあつては折角の企圖も役に立たず米價調節引下げといふ事は望み難いからである』と

◎内地米騷動下火となる
最早鎭靜せん

▲東京 米騷動漸次下火となり十七日夜の東京方面は上野附近に約三千名集合したるのみにて吉原、洲崎等多少集合せるも平靜唯だ軍隊、警官、在郷軍人の警戒は嚴重なり各地方も大したる事なかるべし（東京特電）

▲仙臺 十六日夜八時群衆二千名は市内各所の富豪に暴行を加へ鐵砲町なる吉田次郎氏方を襲ひ三萬圓の寄附を要求し同家に放火全燒せしめ其他佐々木重兵衛氏宅及び小塚病院に放火せり官憲の暴行者檢擧は著々行はれつゝあり（仙臺特電）

▲津市 十五日夜民家を破壞し米穀取引所に放火し軍隊の出動にて鎭靜せるが家屋の破壞されしもの十戸燒失卅戸に及べり（津市電報）

▲京阪神 十八日に至り京阪神靜穩となれり大阪騷擾の檢擧者千八百名尚續々拘引されつゝあり（大阪特電）

▲呉 呉市も十八日海軍陸戰隊の手に依り鎭靜せるが暴行者數十名の死傷あり（呉電報）

▲門司 門司の米騷動は十六日迄尚ほ無警察の状態を現出したるが同日午後六時頃迄約三個大隊出動し來りて警戒し尚暴動の煽動者らしき者及び關係者五十名を檢擧したれば十七日より秩序回復し平穩となりたり是が爲白米其他飮料品各種の小賣品物缺乏し一般需要者側は困難を感じ居れり▲門司市米屋征伐の暴動は小倉師團より二個大隊の兵出動し來り市内各方面を警戒したるより十六日以來表面鎭靜したるが如きも人心尚恟々り暴擧の煽動者及び關係者と目せらるゝ者六十餘名を檢擧し目下取調中なり（門司特電）

◎チエツク軍謝禮使
世界各地にある同族の純代表　二十日頃東京著の豫定

チエツク軍は本紙前報にあつた通り我國が援助の爲出兵するに至つた好意を謝する爲め内治外交の機關評議員會の決議に依り全般評議員スパチエツク氏を謝禮使として我國に派遣することとなつたが氏は二十日頃東京著の豫定だといふ、チエツク種族評議員會本部は佛國巴里に在つてベニス博士が會長であるが尚此上に首領目總轄者としてマサリツク博士（米國在住）がある、前露の評議員會はギルザと言ひチエツク種族中の人格學識卓越の一流人士を網羅したものであるからスパチエツク氏も立派な人物たること疑ひなく且つ此機關の決議は權威あるものとして非常に尊重されて居るから其特派使節は世界各地に散在せる同種族の純代表者と見做して可いと云ふ事だ

◎勇ましい禮砲浴びて
二代目の十九師團長　高島友武中將の入城

夫人令孃は連絡船で大弱り前日來一粒の御飯も咽喉を通らぬ

龍山第十九師團に二代目の師團長として故寺内將軍の嗣子子爵高島友武中將は十九日朝公式に入城した、伯爵吉井幸藏氏の令弟で名家の出なるに拘らず頗る平民的の

☆酒脫な人 らしい淺黑い顏に終始笑を湛へ『盆栽ですか好きは好きだが今度は一鉢も持つて來なかつた、何しろ秘藏つ兒は外に出したくないからね、朝鮮には金剛山にあるさうではないか……卻々朝鮮もよく米が出來るね』など、窓外を見て語る、左胸部に勳二等の略章が大きく光る、永登浦には令兄に當る大和町一丁目の野津鎭武氏夫妻が出迎へる筈の夫人と令孃は連絡船に弱つて昨日來飯一粒咽喉に通らぬとて

★頗る閉口 してゐられる九時十五分龍山停車場につくと出迎への文武官有力者が波を打たしてゐる將軍は佐藤高級參謀と馬車に同乘し騎兵一個小隊に儀仗されて驛前の順路を師團司令部に箱々と進んだが、軍司令部の構内からは禮砲の響射が間隔を置いて轟ろき將軍の馬車の過ぎる所

☆騎兵中隊 を眞先に歩兵第七十八聯隊の第一第二第三大隊、野砲兵中隊からは喇叭の響が起り威風堂々と著任沿道將軍の雄姿を見んとする群衆も中々多かつた

☆十九日朝著任した高島十九師團長（官邸玄關前にて撮影）

◎子供の爲に娛樂機關を設けよと
云ふ河合日出校長

休暇を利用して内地に歸省して來た河合日之出小學校長を訪ふ

内地のお土産なんて、忙しい旅でしたから何もありません、しかし何處の新聞社でも近來、貴紙の樣な方法で教育方面に活動して居るのは非常に嬉しい事だと思つた之は教室で四角四面な修身訓話のみ聞かされて居る子供、娛樂機關の少い子供のためにはこの上もない幸福であらう、先き頃私の學校では某有志の厚意に依つて兒童に

▽活動寫眞 を見せた之に對してある方面では學校で寫眞を見せるなんて……と云ふ評もあつたさうだが、なる程私なども活動寫眞の害のある事は十分知つて居る、しかしそれは大人の見るフイルムを子供に見せるのとこれを說明する辯士が惡いので、フイルムを選んで動植物などの寫眞を主として

▽學校敎育 の補助とする事は子供の娛樂と云ふ上から云つてもまた趣味の上から云つても結構な事ではなからうか、要するに如何なる子供の娛樂機關を作つてやる事は目下の急務であらうと思ふ、先年私は東京で有樂座のお伽芝居を觀たが、斯う云ふ方面から此種の娛樂を作つてやつたら敎育の上から見ても、非常に効果ある事と思ふ

緩衝機（投書歡迎）

當局に訴ふ　三星生

◆一樹木花卉を毀損すべからず一切藥の附近に於て火氣を用ふべからずと云ふ制札が儼然と立つてあるにも拘はらず、西大門外に天然亭日本公使館跡の保護建築物の廻廊を破り剩さへ櫚内建物の錠前も捩切り日夜自由に出入する無頼漢あり
◆制札を無視し燐寸煙草の吸殻瓜の皮など取り散らしての狼藉、あたら名蹟も心なき此れ等馬鹿者の爲めに大損傷を加へられつゝあるを見る、巡廻の警官は盲目乎彼前の門前にある巡廻箇に捺印する事を以て能事とするか、誠に憤慨に堪へない

家賃値上げの魂膽　勞働者

◆貴重なる京日の紙上を借りて賢明なる當局に訴ふ
◆先般貸家同業組合なる無頼の名義を濫稱して三割上げの運動をなし爲め取調べを受けたる大家主は其後に意志を繼續して何等反省する所なくして
◆今や我に下級者にありては米價の暴騰に極力闘ひ闘ひつゝある悲慘なる境遇に對し持容赦もあらばこそ値上を強制して止まず眞に鬼の如き彼の内幕に左の如き聯斷あり
◆即ち最近に於て自己所有の貸家經營を會社組織にせんとするにありて此際其の家賃の率を上げ極力高價に會社に買付けんとするにあり
◆要は之に努れ儲点にせまれる我等を犧牲として尚私腹を肥さんとする彼れの卑劣なる手段や實に惜むべく斯る會社の株式に應募し例令一株にても持つは紳士として最も恥べき事ならずや敢て社會有志諸君に檄す

成金の考へ　京城唯野呆々

◆ある會社の出張所長がある京城の成金連を某旅亭に招んだ、黃金色した酒は成金連の地金を出したのか一座が銅色の顏色になつた頃油切つた顏の所有者の一人が、吞んだ酒が何處かに閊ゐた時のやうな顏をして一體本夕は何の用で集つたのですかと盃に申譯のないやうな顏をして發起者に尋ねた、此時人々はハツと氣がついて
◆一樣に發起者の顏を見詰めた、其の樣は如何にも成金らしい啞呆さと、狡猾さとを表現して居た。發起者は誇らしげに笑つた、そして『エー今夕御集りを願ひましたのは近頃東京では一箇月間に家で一回しか飯をたべない二回しか食べないと云ふ事が流行ので
◆京城でも斯樣な結構な傾向を紳士間に擴めたいと思ひまして』と言つて貰つたばかりの一萬圓の特別賞與をチヤラ〳〵させて見せた流石に一同は驚いて衆口一時に『ぢあ料理屋へ引越すんですかい』と言つて、財布の口を堅く握つたさうだ

◎蔚山の白骨事件
被告に不利な事實
◇……が發見されたが今暫くは公表されぬ……◇
と窪田檢事は語る

事件の成行き許りで社會の耳目を聳てた蔚山白骨事件は第二白骨の發見と共に益々疑雲に包まれ愈々迷宮に入れりと稱されし僞眞相調査上暫く記事の掲載を禁止されて居た然るに去る五月極惡犯人として死刑の宣告を受け京城監獄に監禁されて居た長阪七太郎は警官三名に護衞されて

▽釜山へ押送 されたので同事件其の後の模樣を知る可く窪田檢事を訪へば氏は徐ろに語る『世間には死刑囚長阪七太郎に對して有利なる新事實現はれたるもの、如く傳ふる者あるも是れ等の事は絶對にあらず長阪の爲には寧ろ不利の事實が發見された然し此後の成行に就ては事件の進捗上今暫く默して居て貰ひたい』尚讀者の記憶に殘れる死刑囚長阪七太郎が殺害したりと稱せられ居たる

▽大和川畔 の白骨は阪本源吉の死體に非ずして本年四月蔚山邑内杉山氏の敷地に於て發見されたる第二の白骨が阪本なるもの、如く釜山地方法院にては爾來引續き被害者阪本の兄弟並びに先妻を召喚して新白骨に付き最も愼重に審議中なれば未だ

▽其の眞相は 知能はざるも果して新白骨が阪本なりとせば事件は再び急轉直下して更に迷宮に入る可く記者は後日を俟つて更に報道する處あるべし（釜山支局）

◎ボートの底に噛り付いて一晝夜漂流
友康丸乘組員　一等運轉士と能天

鎭南浦にて米及び砂金九百八十五噸を積み八月八日大阪へ向け出帆したる神戶船株式會社所有汽船友康丸（八百八十七噸）は激浪の爲め九日午前二時頃濟州島沖にて沈沒し乘組船員三十餘名の內十二名は遂に溺死するに至り月野一等運轉士能天肥後太牢の兩名は短艇の底に噛り付き一晝夜漂流中對馬沖にて香川縣の漁夫多江常八の船に救助され全南月文島に上陸したるが月野運轉士は其の船主に打電し取調べの結果船長以下二十一名だけは肥前呼子に上陸したること判明せり

◎獨禍を蒙つた
德山丸船員　晩香坡に到著

德山丸船長以下八十五名の乘組員は十六日晩香坡著手續を了し歸朝の途に就くべき旨同地領事より外務省に來電ありたり（東京特電）

◎晉州地方の豪雨
浸水の虞あり

十八日夜來の豪雨にて南江の增水十八尺以上に達したるが今數時間降り續かば全市に浸水すべく目下消防出動し警備中にして人心恟々たり（晉州特電）

▽山淸方面 慶南山淸方面は增水甚だしき模樣にて現在增水一尺に及び人家に浸水の虞あり危險刻々に迫りつゝあり（晉州特電）

◎白米下る
▽二十日から　小賣卅八錢

京城市內に於ける白米小賣値段は三十九錢を動かざりしも十九日一錢値下げの三十八錢となり尙下落の見込みなりと

◎石炭流失す

滿鐵龍山貯炭場にては十六日の豪雨にて浸水するに至り貯炭約四百噸二千圓は遂に流失せしが其の內塊炭五六十噸は砂中に埋沒し居るより拾收し得べき見込みありと

◎元山金剛山間自動車 當廳（元山）並に金剛山の溫井里間の道路は破損のため自動車運轉休止中なりしが復舊せしを以て十五日より運轉を開始し當分の間雙方より一臺宛を出すべしと

◎四戸救はる

十六日の洪水にて京城に於ける被害は頗る多大なりしが其の中にて住宅家財一切を流失するに至りし初音町の鑄物工罹災民（家族六名）花園町七十九番地左官罹災民（七名）初音町六十八番地洋服商（家族四名）舟橋町五十二番地劉環弘（八名）の四戸二十餘名は早速救助を要すべき悲境に陷りたるより京城府と本町署とは協議の上即日より手當を施し居れり

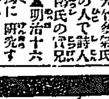
◇各地の白米
＝十九日小賣値段電報＝

▲清州 石拔一等白米一升卅三錢
▲公州 一等白米三十五錢
▲開城 一等三十六錢
▲兼二浦 一等三十八錢
▲全州 一等三十六錢米價下向となる
▲群山 一等三十六錢變動なし正米三十二圓五十錢取引皆無の狀態なり
▲仁川 小賣値段動かず特等四十錢一等三十九錢五厘二等三十九錢

肺病に奇効ある（ザリ澤盤）同病で困る御方には捕つて上げます。捕り價百四五圓五拾錢二百四五圓 青森縣大湊町下鍛山 齋藤福松

▲宮島見物
內地見學團より（2）　堀川生

◆連絡船の一夜は存外樂であつた。釜山の棧橋の灯が小さく見え出した頃船が搖れるので玄海灘を忘れて居たが始終其狀態を維持して、女子供も醉はなかつた。只三等室の小部屋に詰込められたので暑い暑い。汗ビツショリ。
◆四時頃からぼつ〳〵甲板上が賑ひ始めた。美しい眞紅の太陽が、凪つた空の間から湧れて來たが、暫時で北雲に沒した
◆そぼ降る雨に下關の埠頭を踏む、家屋の構造が違ふ、白衣の鮮人が少ない、山口に木が澤山生えて居る、汽車の箱が小さい、見る物聞く物が皆珍しい等の一行を迎へて居るの感がある。
◆十時十五分下關を發して、白砂青松の間に周防灘の白帆を眺めつゝ東上し始めた。
◆德山に來ると軍艦が數隻居る『河內』の遺骸を弔つてゐるのだらう。雨が止んで弱い太陽が西方の山から露はれた頃宮島驛に著いた。
◆ランチに乘つて三景の一、嚴島に著いた。先づ大鳥居を拜み、老案內者の器械的說明を聞きつゝ巡覽し、不思議の神々しさと歷史的聯想とを起さしめた。
◆改築中なる千疊閣を見ては秀吉を想ひはじめ、五重の塔に對しては當時の建築美に驚かされた。只惜しい事は、可愛らしい鹿が一匹しか居なかつたことだ神燈に見送られて惜しき別を告げ暗黑の山陽線路を辿る（十四日車中にて）



この間長逝した工學博士大竹多氣氏は舊幕藩の人で詩人松田學鳴氏の實兄である▲明治十六年の赤門出、染色を英獨に研究すること四年半。歸つて千住製絨所に又高商に學校にその蘊蓄を開いた▲彼の陸軍服にカーキー色の羅紗を用ふるに至つたのも赤博士の發明に因るのださいふ▲後米澤に、桐生に工業學校を創立し、又大學で紡織工業科を設けた▲博士はまた専門以外文學に在學した頃、森鷗外、幸田露伴、山田美妙、矢田部良吉氏等と共に當時の新體詩運動に沒頭したもので、當時大いに吟誦されたものだといふ▲其の遺稿は、詩集や、歌集や、文學論など數十卷の冊をなしてゐるさうで、學鳴氏はこれを出版して切めて博士生前の知己に頒ちたいと云つてゐる

◎我水兵に敬禮する

チエツクの勝[illegible]

たので喜ぶ事一方ならず日本軍隊に對して頗る深い感謝の意を表してゐる、市中に於ても日本の水兵[illegible]

[illegible]結束百萬留の御用商社を組織し日本軍隊で要する物資の納入且は通譯の事務迄取扱ひ大に忠誠の意[illegible]

[illegible]前報後の寄附者は一百[illegible]米二十八石一斗一升粟四石二斗九升麥一斗五升に達せるが十九日正午迄の醵金總額は二萬八百二十圓

黃海道西島附近に沈沒せし朝郵汽船宗信丸（一〇二噸）は東京海事工業會社に託し七月中旬より引揚に[illegible]

[illegible]日午前釜山入港新羅丸二等客 一等（五名）佐々木三郎、同みさ子、同赤子、外人二名 二等（六十八名）坂本俊次郎、岡田茂次郎、山田佐吉、同ねん、[illegible]、根本富士雄、笠原[illegible] 谷純作、松本留三郎、李康賢、今野潤、伊藤信雄、岩田勢次、梅森慶之進、飛吉初子、武口かめ、松本忠三郎、金子花太郎、同さく、同たけ、同中二、同三保、村山久郎、劉丙義、鮎川榮亮、中野貞子、同政子、大東文右衞門、關山句、野口奥[illegible]

[illegible]二等客 一等（十一名）宮崎巖、高島友武、同さし、同富士、同初子、大沼僊輔、河村信一、坂西由哉、外人四名 二等（三十三名）岡本伴右衞門、橋本彥次郎、[illegible]

□暴風警報（十九日午前九時觀測所發）風強く降雨あるべし▲氣壓 全羅南道▲示度 七五〇▲進行方位 東▲警戒區域 慶尙南北道沿岸及內陸

天氣　但曇（十九日午後六時より二十日午後六時迄）
▲八月二十日 晝間十三時三十九分 夜間十時二十一分

西曆八月二十日 舊曆七月十四日
◎日出 五時五十二分 ◎日沒 七時二十一分
滿潮 仁川 午前三時三十七分 午後四時[illegible] 釜山 午前[illegible] 午後七時五十三分

ホシ胃腸藥

金で買はれぬ丈夫な胃腸は
ホシ胃腸藥
常用者の特有品

かゝる時試み給へ

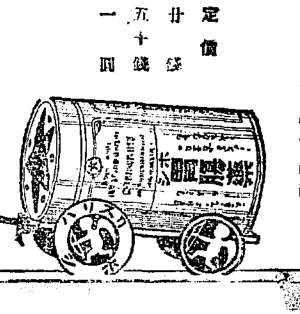
俗に云ふ胃病
慢性胃加答兒
消化不良
溜飮等に
即ち 良く効く

其他
食もたれの時
胸やけの時
惡醉惡心の時
飲過食過の時
最も良し

東京 星製藥株式會社發賣

日本は胃腸病國
最近の統計年鑑の示す處によれば吾が國で年々胃腸病の爲に斃れるものが實に十六万人からある、今是を一ヶ年間諸種の病氣で死ぬ人百十万人に比例して見たならば實に死亡者六人八分の內の一人は胃腸病患者であるのである、日本は昔より肺病國と云れて居るが同時に胃腸病國である胃腸病は吾國民にとつて獨逸よりも實に怖べき強敵である

定價 廿錢 五十錢 一圓



……我軍に對する報効手段に就いて……ク・スラヴァック軍は日本の助勢……多大の便宜を與へられてこの程大集會を開いたが協議の……

◎仁川救濟會　仁川救濟會の販賣せる十八日の穀類救濟量は精米二十一石八斗五升外……

……一百圓高野周三郎の諸氏

◎宗信丸引揚　本年五月……宗丁の筈なりと

◎連絡船上陸客　十八日……十八日午後釜山入港聯絡船愛丸上陸……

……太郎、淺野道臣、高橋良平、久間久子、同たけ、田中たみ、中米吉、中里吉十、岸……
……竹本政文、同千賀、同政特、井上つれ、鈴……坂井ます子、同高廣男……

元山の一日
『面の皮の佃煮』
砂白く松青き松汀里の濱

雨の元山は寂しい程静かだ、色彩は固より違ふが何處か斯う逗子あたりの氣分と似たところがある『嘘を吐け』と謗らば謗れ、翫て居ないところで無論夫は俺が所謂やない、朝鮮の汽船が出るのか這入つたのか、遠い〱夢の國からでも傳はつて來るやうに沖の方で汽笛が鳴る、如何にも港町に適はしい情趣だ。

雨は止め度もなく牛の小便のやうにダラ〱と降る、この儘終日降り籠められた日には夫こそ好い面の皮だ、折角、元山まで泳ぎに來て泳ぎの代りに『好い面の皮』を吊けて歸るなぞは餘り氣の利いた話ぢやなからう、尤も國家の干城に石の罐詰を食はせた人さへある世の中だ、『好い面の皮』も工夫によつては或は佃煮位にはなるかも知れない、なぞと愚にもつかぬ事を考へて居る間に雨はハタと降り歇んで、沖の空から次第に霽れ出した、と同時に、な氣配を見せて來た、今まで旅館の二階で生欠伸を噛み締め〱所在なさ相にゴロ〱して居た一行は俄に元氣付いて

『占めたッ、萬歳！……イ』
『行くぞ〱泳ぎへ行くぞッ』

など、歡喜の聲を擧げる、旅館は最う煮くり返るやうな騷ぎである。

正午過ぎから天氣は愈々本當に定まつた、空は雨の事など忘れたやうにカラリと晴れる、お日樣は待つてましたと云はぬ許りにカン〱照り付る、大地は須臾白く乾き上つてその反射熱が焦け附くやうに暑い、聞けば元山は涼しい土所と聞いて居たが是では京城も同じ事だ、お蔭でコレこの汗……。

暑さが酷しかつた丈に松汀里の海水浴場は大分賑つた、松汀里は市の北端、秘鬪を横に見て小さい松山の町をグルリと一廻りすると直其處だ、數日前、京城管理局から配付した『元山案内』の引札には砂白く松青き松汀里の濱、清澄秘鏡と私するところ滿の凉味を感ぜしむ、且つ海水清澄、眺望絶佳にして須磨、舞子の濱にも劣らず、樹蔭、一日清遊には最も適當の場所なりと云ふやうな文句もあつたが正にその通り、景色も佳い、海も却々綺麗である、それも南朝鮮の緑青のやうな海と違つて殆ら藍を溶かしたやうな透とほつた色で、淺い所は底の石を一つ二つと數へる事が出來る位、裏日本の海は却々綺麗だが元山は矢張この裏日本と同じやうに、日本海の黒潮に洗はれて居るから、夫で海が斯んなに綺麗なんだらう、利巧ぶる譯ぢやないが感じた儘をこの通り正直に告白して置く、理窟はヌキにして兎に角、景色が佳い上に海が綺麗─海と云ふものに全然交渉のない部人士に取つては、唯之丈で最う此上もない快樂であり滿足である。

蠶況

◇秋蠶（忠南）　忠清南道管内に於ける本年の秋蠶は七月十五日出庫の蠶種は同月廿五日同廿日出庫の蠶種は三十日孰れも出庫後十一日目に掃立を了し蠶種に脱子し孵化極めて齊一蠶體强壯にして此の缺點を認めず尚葉の狀況を觀察せるに前季降雨多かりし爲發育良好にして桑葉の硬化遲く秋蠶飼料として好適なり而して本年の秋蠶掃立豫定配付枚數は六、一〇五枚之が收繭豫想九一六石にして昨年の六三六石に比し四割四分の増加なりと（公州）

各地方と救濟

◇大邱の廉賣　大邱府廳に於ては大邱内鮮人篤志家より貧民救濟の爲め金品の寄附申出續々あるを以て去る十六日午後六時より府廳内に於て府尹警察署長、商議書記長其他各係主任關係者會合協議の結果翌十七日より來る九月十五日迄の期間に於て府内居住の内鮮人中々流以下の家庭と認むるもの内地人側千四百三十戸鮮人側三千七百戸に對し左記の方法を以て之が救助を爲すことに決し市内各小賣商人とも協定の上月末に於て府廳より各割引價格に相當する金額を割引券と引換支拂ふこと、なりたるが右に就き府廳にては更に十七日午前中府協議會員の參集を求め右救助の實施に就き懇談する所ありたるが府廳にては尚今後内鮮人側富裕者に對し寄附の勸誘を爲す筈なりと

◇内地人側　（イ）二等白米割引一升券一月五枚宛交附但し時價より十錢引（ロ）引換場所市内各米穀小賣商店

◇朝鮮人側　（イ）三等白米及粟割引券一戸に對し三等米十錢引一升券三枚、粟五錢引一升券七枚宛交附（ロ）引換場所市内指定……氏所有米穀家

◇大邱の篤志家　大邱に於ける貧民救濟寄金として大邱府廳へ寄附を申出たるもの左の如し
三百圓（米村賀太郎）五十圓（日本基督教婦人會）五百圓（徐炳學）五百圓（徐内達）三十圓（若松商會）百圓（伊藤吳服店）百圓（小倉武之助）三十圓（今谷穗）百圓（朱氏）十圓（李謙冀）千圓（鄭在學）玄米五十石（李章雨）

大人氣の朝鮮米
東京府の細民救濟…廉賣第一日
東京府救濟課員の談

米價騰貴と共に東京府民が日常の生活に不安を感ずるの狀あるに鑑み府では此の狀態の改善に努力し百方講究の結果遂に政府の諒解を得て東京府慈善協會を介し先づ一部の細民に對して朝鮮米及び外國米の

◆廉價供給を　なす事となつた。其第一日は十二日で賣出し時間は午後の四時から八時迄と制限して下谷區萬年尋常小學校本所區三笠尋常小學校。淺草の玉姫尋常小學校の三箇所で開始された一人にて多分の米を獨占せしめない樣に一升券、二升券、三升券と三種の購求券が制定された。開場前から詰めかけた群集の中から簡單に家庭の事情を調べ人數を制限して入場券を配布した。そして

◆賣上た結果　は左の如くである。萬年小學校では三升券五百三十七枚。二升券百六十八枚一升券百二十二枚合計八百二十七人で米量は二十石六斗九升である玉姫小學校では三升券五百二十八二升券二百八十一、一升券三百四十一で米の量は二十四石八斗一升である。三笠小學校では三升券六百七十二、二升券百八十四、一升券百七十一で米量二十五石五斗五升である。總計三千六十四人に對する七十一石一斗一升といふ成績である

◆其内朝鮮米　が三千八百七十三人の六十八石四斗一升で總賣り高の大部分をしめてゐるのである。賣價は外國米一升に付二十錢に對する朝鮮米三十七錢といふ割であつたが第二日の十三日からは外國米一升に付十五錢と朝鮮米三十五錢とし毎日の賣出し高を外國米約五百石、朝鮮米約五百石と制限されたが一方富豪の寄附金も漸次増加しつゝあれば賣價は

◆益々引下げ　ることが出來ると思ふ賣り出し期間に就ては細民救濟を目的とする以上何日迄と今から豫定することは出來ぬ從つて此に要する米の總量も不明である、しかし朝鮮米の人氣は非常によく中には石が多く混入してゐるのもあるが外國米と朝鮮米との賣れ高を比較して見ても、朝鮮米が如何に優良なるかを知るに足るだらう（東京支局）

★當局を誹謗して
豫防線を張り密に買占を爲したる奸商へ
遂に鐵槌下る

公州に於ける七月中の米價は一等米三十錢内外を保持し他の地方に比し稍安價なりし爲め一般安堵の體なりしが最近各地の騷擾に伴ない公州の安全界も終に突飛の狀勢を示すに至れり八月一日の米價は上白一升三十三錢同九日三十六錢同十一日は一躍して四十三錢となれり此間に於ける内鮮人米穀商九戸は邑内の在米買占又は自己貯藏米價惜みの兆ありしを以て其筋に於て監視注目しつゝありし爲め奸商等は遂に其手段の施すべきなく徒らに苦悶の狀態を呈するに至れり然るに八月十日、

◇米穀商人某なる者　公州警察署に出頭し目下店に在米なきを以て到底從來の公州値段にては販賣不可能なれば三十六錢賣を一升四十三錢に販賣したく若し之れに對し警察署より暴利と認めらるるならば自分は當分米屋を休業すると左も誠しやかに申述べ

◇暗に豫防線を張り　其裏面には二千八石餘を貯藏し尚邑内を中心として買占に奔走したりとの噂專らなり夫れのみならず前記の奸商某は一般の者に對し公州邑内に於ても在米の拂底するは官憲に於て商行爲に干渉し市日毎に穀價に制限を加ふるが爲め鮮人等は市場に米穀を持ち出さゞるに因るものなりと

◇事實無根の蜚語を　放ち彼れ自身等の買占より生ずる社會の攻撃より脫せんとに努めたりとの說あり果して事實とせば愈々以て不埒なる奸商といふべし

◇在米餘裕綽々　去る十一日公州市場警邏中の某巡査補が米穀商某方の前を通過するに方り二三十名の鮮人集團ありて頻りに喧噪し居るより直に其の事情を取調べたる處右は同店に在米なきの故を以て販賣を中止したる爲め食ふに物なく空腹に堪へずとて泣かん許りに訴へたるより同巡査補の報告に接したる當該官憲にても兼て監視注目の折柄なれば忽ち一面郡廳にありては米穀商を召集して相談會を開催したり

◇遂に鐵槌下る　然るに警察署の調査に依れば八月十二日公州邑内に於ける在米は五百四十七石にして住民六千餘は必ずしも悲觀すべきものにあらず然るを奸商等の惡辣なる手段に因り一般住民をして不安を抱かしむるに至りしは憎みても尚餘りありと云ふべし果せるかな警察の鐵槌は前記某内地人商人と鮮人米商金某の頭上に落下し一般住民は安堵の思ひをなすに至れり（公州）

◎稻作は豐稔の見込
此分で行けば米價は下る一方

◇水害後稻作　慶南晋州にては水害大體順良なる爲め成育頗る良好にして今後風雨なくば稀有の豐稔たるは疑ふの餘地なく昨年の收穫一百六十七萬八千三百八十八石なりしが本年は作付田別の激増に依り一百九十萬石を除に達すべし本年の各郡の作付別左の如し當收穫は反當り昨年は一石三斗七升平均なりしと（晋州）
（釜山）二八二町（馬山）九八町四反（晋州）一〇七町八反（宜寧）四〇三一町四反（咸安）五〇二六町八反（昌原）……（統營）……（金海）……（梁山）……（東萊）……（密陽）……（蔚山）……（河東）……（南海）……（泗川）……（固城）……（山淸）……（居昌）……（陜川）……（咸陽）……（合計）一一八、六二三七町四反

◇全北と水稻　十餘萬町步の移植を了りたる全北に於ては直ちに本年作は間違ひなしと豫想されあるも道理で古來農家の實驗談として一般に認められたる傳說である本年の移植期に際しては多少挿秧に水不足の感ありし七地なきにあらざりしも移植は先づ順調に取運ばれ土用前に在りては甚大打撃きし爲め發育は前年に比し稍遲れたるやの嫌ひありしも土用に入りて恢復し爾來至つて成育良好となり更に土用後の降雨にて永き間の照込を洗ひ天水田を潤ほし得て遺憾なきに至れり而して未だ害蟲發生の聲なく目下の所にては秋收豫想の如き今後の天候如何もあれば直ちに大豐作とは見越し難きも豐作に相違なかるべしとは八尋技師の談なり（全州）

◇忠北の稻作　忠北清州附近は挿秧當時旱魃の爲め一時頗る困憊に瀕しつゝありしが幸ひ前後數回の降雨ありて殆ど例年植附困難なる箇處も遺憾なく挿秧を了へ爾來土用の照り込み充分にして而も給水潤澤の結果作狀佳良なり尚最近浮塵子の發生を耳にしたるも數回の豪雨に洗ひ流され發生の虞なし昨年作より蔟は幾分の劣りあれども此儘に進まば數割の増收あるべし特に忠北の米産地たる清州郡鎭川郡の如きは非常なる出來榮にて一望の田圃青々として豐穰疑ひなかるべしと觀測せらる（清州）

◎忠南鑛産額

◆百九十四箇所の鑛區◆　忠清南道の鑛區數は大正六年末に於ける忠清南道の鑛區數は金鑛（百二十）砂金鑛（二十五）金銀鑛（二十）金銀鉛鑛（二）黑鉛鑛（四）金銅鑛（一）銅鑛（二）石墨鑛（一）銀鉛鑛（一）タングステン鑛（七）雲母鑛（二）石油鑛（一）亞鉛鑛（二）石綿鑛（三）鐵鑛（四）合計百九十四にして之を前年末鑛區數百三十四に比すれば六十鑛區を増加するに至れりと雖ども實地作業の鑛區は金鑛（三十六）砂金鑛（二）金銀鑛（四十二）にして之を前年の作業鑛區に比するに僅に一鑛區を増加したるのみ而して大正六年中是等鑛區より生産せる鑛物の價額左の如し
金（九十八萬二千七百八十四圓）金銀鑛石（廿四萬一千七百五十一圓）砂金（三萬一千七十二圓）銀（二百十三圓）タングステン（三十一萬一千六百四十八圓）合計（百五十六萬七千五百五十圓）
にして之を前年の鑛產額に比すれば十五萬六千二百八十二圓を減少せり蓋し山中一萬圓以上の產額を有するものは僅に左の六箇所に過ぎず他は微々として不振の狀態にあり
金百十萬八千三十一圓（稷山金鑛株式會社稷山郡所有）金三十一萬八千二百四十八圓（古城鑛業所公州郡所有）金二萬二千六百十三圓（若松、外二名青陽郡所有）金一萬二千百十三圓（……）金……大倉組所有大倉鑛山……萬百九十七圓（阿部後次郎外二名所有瑞山郡海美鑛……）
就中稷山金鑛株式會社は約七十萬坪の砂金採取を企て約八十萬圓を投じてゴールドドレッヂを据付け成歡に發電所を設けて之れが動力

邱安輕鐵期成會則

大邱安東間輕便鐵道期成會を組織したるが更に來る廿一日午後六時より上町在郷軍人集會所に於て總會を開き役員選擧をも爲す筈なるが當日定められたる會則如左
第一條　本會は邱安輕鐵期成會と稱す
第二條　本會は大邱安東間輕便鐵道の速成を期するを目的とす
第三條　本會は大邱府内在住の内鮮人を以て組織す
第四條　本會事務所は大邱商業會議所内に置く
第五條　本會に左の役員を置く　會長（一）副會長（一）幹事（若干名）
第六條　會長は會務を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は代理す
第七條　幹事は會長の指名に依る
第八條　本會の經費は會員及有志の醵金を以て之に充つ
第九條　本會は本會の目的を達したる時を以て解散す

◎大邱高普講習會　豫ねて大邱高等普通學校にて開催中なりし慶北普通學校鮮人敎師の夏季講習會は去る十七日を以て終了を告げたるを以て翌十八日同校に於て講習證書授與式を擧行したるが吉松第一部長、樋口學務主任列席したりと（大邱）

◎大邱經濟會　大邱經濟會にては廿日午後七時より上町在郷軍人會集會所にて例會開催の筈なるが今月の當番幹事は堀東拓出張所長中野大邱府尹の兩氏なりと（大邱）

◎道長官の獎勵せる一坪農園

◇實益と娛樂を兼ねし◇　立秋前後は秋播蔬菜種子即ち白菜大根等の播種好期なるが忠淸南道上林道長官は本邦より白菜種を取寄せ公州各官廳員及び各郡に配付せられし由時節柄尺寸の空地を利

阿片と贋刑事

◇鮮人と支那人の喧嘩◇　安東縣三番通り派出所附近に於て支那人と鮮人が大聲を擧げて何等か罵り合ひ居るを認めたる派出所詰合の巡査は兩人を派出所に連れ行き双方の言ひ分を聞き合せたるに支那人は此の鮮人外二名より現金二百四十餘圓を詐取せられたりと申し立て朝鮮人はこの支那人は阿片を密賣する惡漢なりと申し立つる舉動の何れも怪しきより安東警察署に引致し兎く〱事情を取調べたるに支那人は舊市街に住む劉冠宇と云ふものにて朝鮮人は住所不定の金賛昇なる事判明したるが賛昇は同日午後二時頃劉光玉、桂某と稱する二人の鮮人と共謀し冠宇が阿片の密賣をなすを知り居る處より劉、桂の兩人先づ冠宇方に到り阿片の能き買ひ手あるを以て周旋すべしと欺き阿片廿兩時價二百四十圓を受け取り相携へて舊市街の某所に到り宅に先づ賣手を同行し來るべしと冠宇方を立ち出で暫くして歸宅したる間もなく見るや光玉、桂某は刑事來れりと騷ぎ合せたる處賛昇は自分こそ刑事なり阿片密賣の嫌疑ありとて冠宇に迫り阿片を受け取り途中にて冠宇が却つて賛昇を疑ひ喧嘩中なる事判明したるを以て安東警察署に於ては直ちに爰に逃亡したる兩人の行く方を搜索中同日夕方に到り中の島に潜伏中を取押へ四名共目下取調中

電話　賣物有　三〇〇番へ

◎二人組の大賊

◇獄中にての悪だくみ◇　東京市小石川區大塚阪下町九七七番地生れ住所不定の無職石川梅吉こと加藤新三（ニ）及び東京市神田區松永町六番地生れ同初崎常三叉は中村米治こと前科三犯の山本萬吉（四）の兩人（新三は強盜罪にて懲役五年に處せられ去五月八日出獄し萬吉は強盜罪にて懲役四年に處せられ去る七月八日出獄せし者）の兩人は永登浦監獄より滿期出獄して間もなき者なるが兩名とも監獄内にて知己となりしが改悛の情なく二人共謀して惡事を爲さんと兼二浦に入り込みたるが一緒に居ては仕事に不便なりとて新三は兼二浦に萬吉は平壤に來りて諒町の三根旅館に滯在し互に

◎暗號電報にて動靜を　往復し居たるが本月三日に至り新三も平壤に來りて朝鮮宿に滯在し同夜兩人諜し合せて陸軍官舍の留守宅を窺ひ忍び入り米澤紬女物給羽織一枚外九點此の價格八十八圓七十錢のものを竊取し同五日八千代町上野彌一郎方に忍び入り白リンネル夏洋服外八點此の價格八十二圓五十錢のものを竊取し六日黃金町土木請負川路市太郎方に忍び入り銘仙絣女單衣一枚外五點價格七十二圓を竊取し是等の贓品は平壤

◇賑町遊廓靜樓仲居　愛媛縣溫泉郡河野村生れ西川まつ（こ）に預け置き更に八日夜黃金町平壤府廳の中村恒一方へ忍び入り黑斜子紋付羽織一枚外十三點二百二十二圓を竊取し是れ等贓品は主として旭町山村櫻町中田兩質店へ入質したるが豫て右被害事件にて犯人搜査中なりし寺田刑事は兩名の舉動に目をつけ兩名とも

◇兼二浦にて一仕事　せんものと平壤驛を出發せんとしたる處を同刑事に取押へられ目下嚴重に取調を受け居れるが其他兼二浦及び平壤に於ても猶ほ餘罪あるべしと尚前記贓品の委託を受けたる西川まつも贓物牙保として引致せられ取調中なりと（平壤）

◎家族の救助

◇平壤愛國婦人會にて◇　平壤愛國婦人會の時局に鑑み活動せることにつきては既報の如くなるが平南に於ける○○○○數は比較的多數を占め居れる模樣にしてこの現象は九州人の移住せるものの多きに起因せるものらしく右家族中救護を要するもの、甚だ少なるは是又喜ばしき現象なるが多數中には救護を要するものあるは免れざる事とて平壤愛國婦人會にては近日役員會を開催し夫々調査を遂げ且つ家族の救護方法及び出征軍人に對する慰問狀の發送等につき協議の筈なりと（平壤）

演藝案内

東京小林商會朝鮮一手代理店　米國ユニヴァサル會社特約　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　有樂館　電話（番七）五八七番（階下）三〇五番
當る八月十六日より公開
◎實寫　鰐狩　全壹卷
米國ユ社バイソン映畫
◎人情活劇　馬賊の最後　全貳卷
アイリン、セジウイツク孃出演　フレッド、チャーチ氏出演
米國ユニバーサル社第三回蝴蝶劇特作品
◎社會劇　拜金狂　全五卷
名優　メリー・マイラレン孃　エデイ・ボーロ氏出演
大森與同一同こ好評を博せる喜劇
◎喜劇　物價騰貴通し
◎人情活劇　人罠　全五卷

明治町二丁目　電話長二六〇番　浪花館
○東京大阪合同落語大一座　八月十四日より開演……

本町二丁目　電話一〇五〇　壽館
森峰吉一行　八月十九日七回目……愈々本太夫浪花家小虎十九日より出演仕候……

▼大好評▲
引續滿員御禮
合同　落語大一座
長唄　杵屋勘左衛門　杵屋勘三郎　出演
浪花館

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
電話二六三七　二二六六　黃金館
◎眼覺しき大寫眞◎　當る八月十六日より
現れたり大阪每日新聞連載　◉家庭劇　無双の　条の中内　全三百二十場……大好評嘖々……
◉第八回　百萬弗の秘密……
◉新派　味原池心中　全三卷

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
櫻井町　電話八七三　大正館
當る十六日より特別大寫眞　◉實寫　ニュースの一日　◉滑稽　證據　◎◎新派悲劇　僞女優の月　全四卷……
◎連鎖第二『秘密の王國』……

入札期日變更
明治町土地賣却入札期日ヲ九月二日ニ變更ス
李王職

アタラ勉强盛り　働き盛りを不幸
腦神經衰弱
に惱める人に……

■何が傷ましい　と言つて、勉強盛りの二十四五迄又は働き盛りの三四十位の齡で腦病＝神經衰弱に罹つて、勉强も活動も思ふに任せず、自分の未來許を悲觀して鬱々と日を送り

■始終頭痛が　する、秘結する、逆上る耳鳴がする、食事も不味く何事も面白くなく、一寸何でもない事をするのも臆劫で、無理に行つてみても忽ち腦や體が疲勞して直ぐに倦き

■夜は眠れず　記憶力は衰へる判斷力は鈍る、始終苛々して不安な氣分に擒られる、蒼白い陰鬱な顔をした容子がサモ不快氣なので、他人には嫌はれる、遂には不幸にも全く

■廢人同樣　に取扱はれ、絕望の極は自分で此世を辭するといつたやうな人のあるのは、畢竟此病が嵩じての結果である。だから腦病患者の有る家庭では、努めて周圍の人達が注意して殊に

■溫かい同情　を以て患者に臨み、親切に優しく取扱ふと共に、食物には少量で滋養の多い物を進める事、食事の時刻を一定する事、早寢早起の習慣を附ける事、激しくない運動や仕事を

■時を定めて　少時宛遣らせること等、凡て日常の生活を規則正しくさせるやうにし、冷水摩擦、日光浴、深呼吸等は身體の健康によく、又腦神經の爲めに適當である處置は、成るべく是を實行させ、次に

■確實な適藥　を選むで連服させる必要がある腦病藥として種々あるが、腦神經及び其れから來る種々の惱み、即ち前に言つた頭痛、逆上、便秘、眩暈、耳鳴等に、最も有効との信用世に高いのは大阪丹平商會製藥で

■島村醫學博士　が『有効を證明せられた』腦病神經衰弱症の特効藥『健腦丸』である。『健腦丸』は完全なる設備を有する同商會調藥場に於て、專門の選拔者達が、多年の苦心研究になり多の患者に試して見て

■著大の効果　を擧げた腦病良藥で、各種の高價藥が配伍せられたに、嚴重な藥の精選と、製藥上の周到な注意が施されてあるから、安心して服用の出來る貴重藥である。殊に虛弱者でも常に

■頭腦を使ふ人　や、頭腦に疲勞を感ずる人、美食して運動の不足勝な人、家庭に中風系のある人、神經の過敏な人、絕えず神經の亢奮する人、とりわけ腦充血や、腦卒中の誘因となる酒好きの人即ち

■腦と眼の關係　近頃學者の間に眼病と腦神經と至大の關係があり、眼に故障があるが爲に、腦神經に故障を生ずる場合がある事を發見された、腦を惡くする爲には眼も大切にせねばならぬそれには理想的の點眼藥として『首治水』を推奨する『首治水』も丹平の藥舗で……根本的に視力を強くし、完全なる殺菌消毒が施された三大特長ある眼藥でトラホーム、はやり目、其他眼病諸症に偉効がある（價十錢廿錢新式點眼器付）平素眼を使ふ人は必ず愛用あれ　必ず眼を健にする効力がある。

■大酒の人　等は持藥として毎日少量宛服用すれば、腦を休め、神經を鎭め、腦の疲勞を恢復し、便通を快くし、逆上を引下げ、記憶力を強め、來る可き中風や腦卒中を豫防し、腦充血を根治する等今日迄數へ盡ぬ多數の患者諸君が實地に服用されて絕大の信用を措かれた特効藥で

■腦病には健腦丸　に限る、この實證を據つてゐる次第である、本舗は大阪心齋橋二丁目の丹平商會本店、東京日本橋區室町の丹平商會支店で全國信用ある藥店に取次販賣してゐる。藥價は四週分廿錢から十週分五圓迄種々ある、若し品切れの時は直接本舗へ御申込み下さい。未だ『健腦丸』を服用なさらぬ方は直ちに試して其効驗を實驗せられ……

報　雨
前日最高温度　七十三度九分　二十三度二分……
彼岸　三月十八日　九月廿日
社日　三月廿二日　九月廿日

商況

東京期米特電
十九日前場　二十六圓五十錢

兵庫期米特電
休會

大阪株式特電

種類	拂込額	十七日後場
宇治川水	五〇,〇〇	…
京阪電鐵	五〇,〇〇	…
東洋紡績	五〇,〇〇	三五,〇〇
合同紡績	二〇,〇〇	…
鐘淵紡績	五〇,〇〇	二〇五,五〇
同上新株	四〇,〇〇	一五一,五〇
東洋汽船	五〇,〇〇	…
大阪商船	五〇,〇〇	一二九,六〇
日本郵船	五〇,〇〇	一三一,五〇
同上新株	五〇,〇〇	…
堂島米穀	五〇,〇〇	一三一,五〇
東京株式	五〇,〇〇	一三〇
大阪株式	二〇,〇〇	一三二,五〇

大阪三品特電
十九日内氣配　米棉六圓高　糸十圓高唱へ

大阪期米特電
八月限 …… 九月限 …… 十月限 …… 十一月限 …… 十二月限 …… 一月限 ……

下關期米特電
停止

雜報

●三品暴騰氣配 土曜日の三品市場は前日の强硬に反し稍軟弱の歩調にて後場止め當限四百一圓二十錢先限三百九十三圓と小安き入帯なりしが休日中の内氣配は棉高强勢へなり休日明けの今朝は立會前の内氣配にて**米棉六圓高糸十圓高の見込み入電**を齎らせり間に合はざりし後場立會後の成行き不明なるも各期**再び四百圓の大關門を突破**せる事と信ぜらる爲めに當市中の綿布市況も又々活氣付來りたり

●正米下押す 正米は釜山方面は多少引戻しを報じつゝあるが當市場は依然無商内を續けたる後とて賣人も非々買人側の唱へに折合ひ來れる風情にて氣配更に弱含みなり且常さすれば日本種玄米三十四圓五十錢在來種二十九圓八十錢と十七日に比し**七八十錢方の安氣配**にて過日の最高唱へ値より約八圓近かくの低落に當れり鮮米も久々にて本日は**中白千六百餘叺玄米五百叺近**くの到著あり在米の此際なれば人氣の上にも影響する處少からず眼先相場の下らぬ迄も**氣配一層弱**かるべし

●東麥市況 大麥は人氣全く混亂に陥り最近買方は盛んに商談を勸めつゝあるに拘らず賣方は警戒の一方にて染みたる商内は更になき事さて茲正確なる成行を知るは困難なる狀を呈せば**依然軟弱**なるも氣配は武州六升六合方下押したるが目下武州六升六合突破さ三升三合先人氣落付くにあらざれば稍落ちつかん**小麥稍落付**き世論向沸騰し居るより免れざるも或は何等かの硬材料を有するならんとの暇合見居たる持合の姿にて**麥安**の結果兩商内の値持合を呈せり

●東京期米立會 去る十三日二十七圓より急落二十五圓五十一錢にて臨時休會さなりし東京米穀市場は其後次第に人氣平靜に復したるより今十九日より**立會を開始**するに至りしが前場入電**二十六圓五十錢**休會當日の止め値より**約一圓高**を示せり

●堂島市場其後 堂島市場九月限は昨常の如く解合成立したるを以つて取引所に於ては**停止解除の申請**に付十九日午前九時より重役會議並に仲買委員會を開きて**協議**しつゝあり主務省に於ては九限解合の成立したる上は何時にても新市十月限の立會を許可すべき内意なるを以つて**近々立會を開始**するに至るべし

●臼米値下げ 臼米は原料の安模様に連れて漸次軟弱の傾きあり市中卸値は組合協議の結果明二十日より**一圓五十錢方を引下げ**一等米**三十六圓五十錢賣を實行**する事に決せり市中は賣米の好況に賑されて益々不振に傾き市況沈靜を呈しつゝあり

●大麥引立つ 大麥は此處暫まり口の買進みある爲め市況減切引立ち來りしが未だ相場の引締まる迄に至らず今日の處前報の値持合見當なるも**眼先尚强硬**の傾きなり

●支那粟安氣配 支那粟は買人見送りと殘引の高値反動に人氣漸次に弱く殊に**鮮人側安唱へ**なり相場は區々一定せざるも十三圓三十錢見當ならん

●洋紙益强硬 洋紙界は製造會社筋の値上希望と問屋筋の先高見と賣惜みとに其後の内地相場は漸次引締まりを報じつゝあり何分にも海外注文輻輳せる爲さらぬだに在荷手薄の折柄とて愈々製紙筋並に手持筋の態度を强硬ならしめ且つ**米國紙價昂騰の影響**も限りて市況日に昂進の一途を辿り殊に近く輸入筋より**越の思惑買著しく現**れたれば當市況も一段氣勢を昂めん模様あり**先高見**

●鑛油内地市況 燈火油は既に秋季手當の買つけも始まり且つ需要期も接近せるに拘らず一面生産減少の爲め市況日々に硬化し近日又々値上の實現を見るならんと豫測せらる**機械油**は前月中旬以來買持筋は既に投出したる後にて殆ご手持皆無の折柄海軍筋の納入契約の許は一段人氣を引締めたるが中にもマシン類は頗る强硬の歩調を辿り社外品も珍らしく高氣を呈し此處鑛油市場は器械油の天下さ云ふ姿なり**鯨油**は北海道筋並に東北方面への荷捌き引續けるため市場は一向軟化の模様なし**揮發油**は在荷依然殺到されず内地會社筋の市場出廻り品は僅少の數量に止まり又ライジングサンの南洋方面よりの輸入は益々圓滑を缺けるものゝ如く目先秋口の接近と共に再び昂騰氣勢を醸出すべき模様なり

●味噌愈値上 味噌は既報の如く一時値上げを見せ居りしが其後米價も豫期の如く下落せず此際漸く諸材料模様となり居りより仕込業者に於ては愈前日の**一圓方引上**げ決定通り**十九日實行**するに至れり値は二十貫入一樽十□圓なり

●明太魚强硬 明太魚は産地品薄高氣配にて不引合ひなれば近來餘り入荷多からず相場は中品格にて五十六圓處の唱へなり賣行きは値頃高の爲め不良なり

●鮑は頗る好調 鮑は本品干物は昨年の如く昨瓜方面の輸出なしと雖も鮮内需要好調なると諸物價高の影響にて相當安からず上品は二枚括り七十錢次品五六十錢見當なり又周浮袋は内地移出絶ゆ行けれ相場は百斤百五十五圓さいふ高値を維持しつゝあり

●鹽鯖次第安 鹽鯖は昨今鮮人側の需要少なければ氣配次第に軟弱なり相場は六錢四五厘の見當なるが眼先猶下押し模様なり

●野菜類騰貴 野菜類は此處進々出廻り減退の時期に入りつゝある折柄近來屢々の霖雨にて少なからぬ被害を受けたるを以つて龍山方面よりの出市微減せり殊に白瓜其他の穀物は一層甚しく相場は昨今に至り**各種平均三割方騰貴**せり

●小賣白米値下 小賣白米も卸値の引下げさ同事に各等一升に付**一錢方**値下して明二十日より一等米**三十八錢**二等米三十七錢五厘賣を實行するに至れり

下關相場

▲朝鮮米の明況 共後出廻り全く途切れたるも何分かゝる形勢の折柄さてひたすら買人の手控へにあるより白米一般賣氣の賣り物現はれ十七日の如き一等白米三十四圓處にて段々出來したる模様にあり而して十八日は市中各に商人の手持米が悉く三十七圓で市役所に買入れたりされば目下當地には賣物一寸拂底の姿なり ▲小豆は不味 共後北海產七百俵の輸入ありしが別段なげ物的の賣り物現はれずして市況安しさいふにあらざるも何分正米の低落に他品の等しく不勢にある折柄產地もとかく軟弱の情報にあるが杯向ひたすら買人の手控へ居る爲め一向見るべき商内行はれずして市況不味閑散を續け居れり ▲大豆も不味閑散 昂又正米の形勢今尚ほ混沌として其捕足すべき處を知らざるの情況にある折柄他品も一齊に不況を演じ居るなど前途の成行き如何かと案じてひたすら買人の手控へにより更に見るべき商内行はれずして市況不味閑散を極め居れり以て共後別に一又現はれざるものゝ如し

各地商況

◎木浦（十七日） ▲玄米（不變） 大阪電報迴りて更に入電無く單に警戒喚重にて歸穏なり依つて引合も無く當地は相變らず賣物なく買手とても無し二等玄三十一圓より三十二圓見當ならん久しく手合出來ず區々にて捕捉し難し ▲籾 入荷なし倉人もの手合せ層强硬故八圓七十錢より九圓なり唱ふべき見當果して手合の日や如何

▲宜川大豆（當用）　二十四圓廿錢
▲同　二十四圓三十錢
▲龍山大豆　廿一圓十錢
▲同　廿一圓二十錢

釜山穀物市場（十八日）

▲玄米强硬 十日間程は押目知らずの大狂騰を演ずるかと見れば忽ち反動し暴落期に入り日々秋走を續けて高値時代より十五圓方暴落する等大波瀾を極めたるも最近一寸内地方面暴落を知らざるに拘はらず安値に買人の氣乏しき爲めさ買人氣の思惑から居たるも既報の如く突如昨米に至り内地大阪府に高値買付注文ありさこゝにて又人氣引向き氣味さなりて品によりて十五錢又は一二圓も吹き上げたる物もありたるがさて今朝市況は云ふに依然賣物は乏しき方にてはなく相當に之有りしも何分昨日にもありし如く昨今日立ちて賣買をなす時はたゞ必需品にても其筋の干渉又は世評のうるささより目先き注文や又必需品に迫られて底値買氣溢溢しながらも思ひきつて買乘り出す物もなく又賣人も賣控へ氣味あり旁々以つて市況振はず閑散を極め居れども氣配は前記の如ある折柄さて引强まず弱合みの商狀にて昨日に比較する時は**五十錢方昂騰**云ふに昨今の如く人氣は先商勢如何さ晒びも得ずさればとて下落も待ちつゝ豫分は思ふ存分の上ながるべく先づ當分は區々の外なかるべき模様なり

南大門廻穀

水原米 三九叺　郭山碎米 三四叺
平澤白米 七一叺　天安玄米 三三叺
烏致院麥 四八叺　群山粟 六八一袋
烏山白米 一元叺　新安州白 九四叺
新安州小豆 一四叺　烏山白米 三元叺
烏山玄米 一元叺　烏致院碎 四一叺
新安州麥 二二叺　宜川麥 二一叺
烏致院麥 四二叺　沙里院碎豆 三叺
平井里白 二元叺　瑞興小豆 二六叺
東浦場麥 二一叺　瑞興胡麻 四七叺
汶山籾 一五叺　新義州麥 二〇叺
天安籾 川□叺　仁川外米 八九

仁川正米

▲籾の入港弗々あり ▲正米界は稍落付き模様を呈したれど相場は未だ前歳行はれず**地搗玄米三十圓五六十錢**より**七八十錢見當**の取引行はれ居れりとの事

生魚市場

▲京城日丸市場 仁川元山物少數の外釜山サバの廻著ありしのみなり相場は一般に持合ひ既なるが鯛は稍高の氣配飛びせり あぢ一二いせび三五にべ一六あわび五〇たい五〇さわら二四すずき四五さば九

仁川期米

▲十九日前場（新規賣買停止）
第一節　中先共出來不申
第二節　中先共出來不申
第三節　中先共出來不申
第四節　中先共出來不申
第五節　中先共出來不申に付散會

▲引跡東京發電前場一節二十六圓五十錢高い公天さありたり

市場雜觀

▲一昨夜は第三節に於て當局より手石解商内行はれたるに過ぎずして散會したり米價調節策さしては政府は遂に米の收用令を發布したるさ同時に從來の外國米穀管理部を廢し米穀管理部さ改正したる帝米價調節を徹底的にするに至るならん▲夫さ例の暴騰にて各地共米價大暴落を報じたる帝も問題の下火になるに随ひ相落付き模様を呈したりとの事なるも夫だ諸種紛紜の状態にあるもの如し解決したる大阪堂島も九限の解合は時節柄 ●**未確定の新甫發會** 中休なし來るべき十一月限の新甫發會も或は本月中に開始するに至るならん▲今回發布せられたる穀類收用令の内容は本紙上已に詳細報道せし如くにて如何に賣り惜しみ居りたる大農連も政府の强制を俟たずして米を賣り出すに至るならん▲天候昨日朝來曇天夜に入り小雨降りたり今朝依然曇天今前場は遂に出來不申にをわりた本社に對する照査及び新米出廻り期迄の過不足量込に依れば全鮮を通じて在米量は存外多量なるより見れば**中流以上農家の藏米は未だ相當**に存し居るは明らかなるも新米出廻り迄には昂値を夢想し居る是等は皆も今回政府の發布したる收用令に依らざるを得ざるものならん

●東京市場は今朝立會を開始 要あらん▲解合問題は依然行惱みつゝある模様なりしが突然今の旅行にて部分も解合行はれずとも見越り脹態である立會停止中なりし東京市場は今朝立會を開始したるより入電に接したるが先限一錢二十六圓五十錢さ入電したり▲去る十三日二十五圓五十一錢を以つて騷動の爲め立會を休止し共後一人氣に**二十四圓見當**なさへ報じ居りたるが今朝の立會に**九十九錢高**を報じたれば**一時の不安人氣も稍一變**したるやの觀あり不知今後如何なる騷動を報ずるなるか▲九限を解合形勢觀傍しつゝある大阪堂島市場も東京の立會開始に鑑み或は立會を開始するに至るやも計り難し今後の成行如何に依り行惱みつゝある解合談も意外に進捗するやも計られず此際從來の囲まれる問題を解決し早く立會を開始の望む

北濱たより

▲安値買警戒 米騒動の範圍は案外に大なりしかば地方筋より賣り物は入込み來らず反つて賑の買物を誘致せる爲めに相場は兎角不味を呈し居れるに米騒動も最早終熄に近づきつゝあれば此の問題を提して買込むは遲きの感あれども之に由りて物價調節の必要なる感じ漸く根本たる物價收縮の策さして政府は明活き大蔬債を行はんとするやの意響あるやに傳へられつゝあれば故資に病臆なる資本家は徒らに今後の形勢を見定めて而後に買ふも遲きにあらざるべしさ一般に手控へ勝ちさなりたれば目先きは鈍狀を脫し得ざるもの投資の豐富なるは昨今賣出されつゝある會社社會の新設株及び既設會社の增資新株にもせよ皆な相當の成績を期待しつゝあるに思へ之を知るべき傾向を得べければ今後政府が大蔬債を決行したりさて之を大に影響は與へざるべく殊に諸株式の時價は一時の安値に比して昂まれりとは云へ尚ほ一割以上の好利回りに當れば大蔬債に出りし全部の昂騰を呈する場合は有價證券は有利のものなれば之を資放して他に之に代る投資の途は見出し能はざれば安價には又た有力筋の買戾しもあれば此上の安値を追擊するはモハヤ戒むを要すべきかにも思考せらる

京城米豆取引所仲買人　倉重德輔　電話三〇六番

▲紡績株 新設株今期の營業成績は良好にして各社さも前期以上より見れば有利の地位にあるれども昨今買氣の衰へて兎角鈍状を呈し居れるは米價高を靠慮として綿糸の如きも後は調節策を講ぜらるゝに至る事なきかを恐れ且つ物價騰貴の影響に自然勞銀の騰貴さもなりて生産費の嵩むソレ丈け會社の收益減さもなりて次期以後は減配を免かれざるべしとの氣構へより持株筋も萬一を保險する爲めに高値に賣り付の持株の幾分にても賣繋ぎ置くを得策として昨今は賣物より多く賣物の出廻る結果なるか此の値頭は終に減退を見越しての制に合ふ可き値頃にあるものなれば可株も亦た安値を賣込むは一考を要すべきか

白米小賣値

明二十日より
一等白米　三十八錢
二等白米　三十七錢五厘

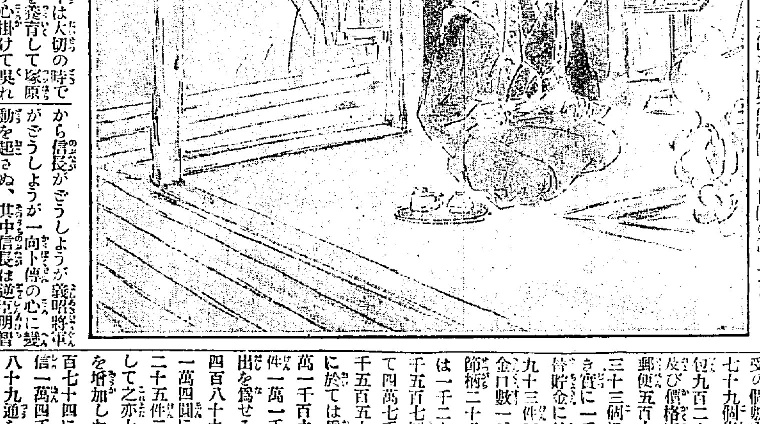
白米標準値

明二十日より
三十六圓五十錢

塚原卜傳

第百七十一席　悟道軒圓玉口演

さて塚原卜傳に於ては飛騨國乗鞍ヶ嶽の山中に隠遁いたしまして醍醐軒さ名付けたる一屋を住所こし、春は嫩に萌揃り四方の梢の色に知り、夏は若葉に茂り行く谷の流れの水の音、秋は千草の蟲の聲落葉ふみつ、啼く鹿の妻戀ふ音さへ淋しきを、取分け冬は山奥の深雪つもれる細道を踏つけて訪ふ人もなく浮世離れし佗住居、萬卷の書を枕こして雲を呑み霞を吐き、生きながら仙人のやうになつて餘生を送つて居ります、年はまだ四十に足らぬ人で能く思ひ切つたもので妻女照代はせめて良人の給仕をしたいものこ後を慕つて此山中へ尋ねてまゐりましたが、子供が成長して後は兎も角も今は大切の時であるから二人の子を養育して塚原の家を絶やさぬやう心掛けて呉れこいつて山中に止るを許さず、無理に常陸へ歸しました、其後秋山も仁科を初め家來の者が尋ねてまゐりまして給仕を望むが一人として許さず苦理解を説いて歸し卜傳は老僕八助と小者の太吉こいふ兩人を對手に悠然として山中の空氣を味はひ居ります、丁度山中へ住んでから三月目に一匹の白猿が尋ねて參りました、猿が尋ねて來るこいふのも可笑いが卜傳不思議に思ひ縁へ上げて食物などを與へますこ喜んで食べ、手眞似で頻りに何か話をして居るがサツパリ意味は判らない、けれども夢中に白猿を見て居りますこ日吉山王の加護ある事は承知して居るから之れぞ神の使ひであらうこ喜んで待遇して居る、猿は久時過ぎてお辭儀をして歸りました、翌日になるこ種々の果物を抱へてお爺に遣つて來た、それから毎日〳〵雨が降つても雪が降つても尋ねて來る、了ひには大勢の猿を連れて薪などを持つて來て呉れる、ごうも其容子が非常に面白いから卜傳もいつしか猿に馴染んで了ひ段々其話も判るやうになつた、動物でも鳥でも馴染んで見れば情愛に變りはない其話もよく判ります、唐土の公冶長ばかりが鳥の言葉を聞き分けたのではない花屋敷の番人だつて熊の腹の空いたのは判る……讀まらない理屈をいつて恐れ入りますが卜傳白猿を友こして淋しき月日を送つて居ります、浮世隔てし佗住居固より世間の話も耳に入らんから信長がごうしようが義昭將軍がごうしようが一向卜傳の心に變動を起さぬ、其中信長は逆臣明智光秀のため本能寺に於て討たれ、木下藤吉郎羽柴筑前守秀吉となつて天下に威を揮ひ、逆臣光秀を初め信長の宿將柴田瀧川佐久間を初め悉く討亡ぼして足利義昭公を隱居させ己代つて政權を司ざり四海に號令を下す、大阪に城を築き、京都には聚樂第を構へて榮花に誇り其の勢ひ朝日の昇るごこくであります、茲に因州鳥取なる龜井新十郎茲矩、武藏守と任官して秀吉公に仕へ龜井流槍術指南番と相成りましたが、此人も一代の豪傑であります、後年太閤朝鮮征伐をした時新十郎先生朱具足に身を固め皆朱柄の槍を執つて大明の兵を槍玉に揚げ、朝鮮八道に武名を輝かして人呼んで龜井の赤鬼こ稱しました、その龜井先生が思ふには先年赤城の頂上にて塚原小太郎こ立會つて後れを取り、天狗飛切りの妙術にて其場は一旦逃れしかごこれは今以て殘念に存じ居る、それのみならず先頃は門弟佐竹官龍も卜傳を覗つて命を殞した、ごうかして今一度塚原こ試合をして恥辱を雪ぎたいものこ考へましたから或時此事を秀吉公へ申上げるこ秀吉公『面白し、然らば來る五月の節句聚樂に於て諸國の武藝者を召集め大試合をいたさせ見物するであらう其時卜傳を召寄せ御身こ勝負を決させん』こあつて直に此事御沙汰になりましたから茲で惡散嶽の卜傳の許へ使者が立つ。



朝鮮病院 ホテル 御用 牛乳　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

◎仁川と郵便物

仁川局に於る郵便物並に爲替貯金の取扱ひ高は近時又增加し通常受の個數書留及價格表記四千二百二十七十九個集金郵便二百七十一個小包九百二十五個配達個數通常書留及び價格表記五千三百四十七集金郵便五百七十八小包郵便二千六百九十三件五萬一千四百九十七圓貯金口數一千八百七十八件にして爲替貯金に於て爲替の受入一千七百三十三個に達せるが配達小包の如き實に一千餘個の增加を來せり爲替は一千二十七圓を增加して一萬二千五百七圓に達し振替貯金激減して四萬七千百十七圓實に十一萬一千五百五十七圓の減に當れり拂出に於ては爲替一千六百四十一件五萬一千百九十一圓其增額四百三十件一萬一千七百六十七圓貯金の拂出を爲せる者は件數二件にて一千四百八十九圓を增加し四百五十件一萬四圓に達せり振替貯金は二百二十五件二萬三千八百三十四圓にして之亦十三件三千四百三十三圓を增加したり電信發信通數一萬三百七十四にして一千通を增加し着信一萬四千三百三十八にして八百八十九通を增加せり電話使用度數の如き市內二十四萬八千にして三萬四千度を增し市外六千四百にして之亦一千度を增せり

曆

八月廿一日　九星 碧七　月十五日　庚子
本命三碧　東　定　先負

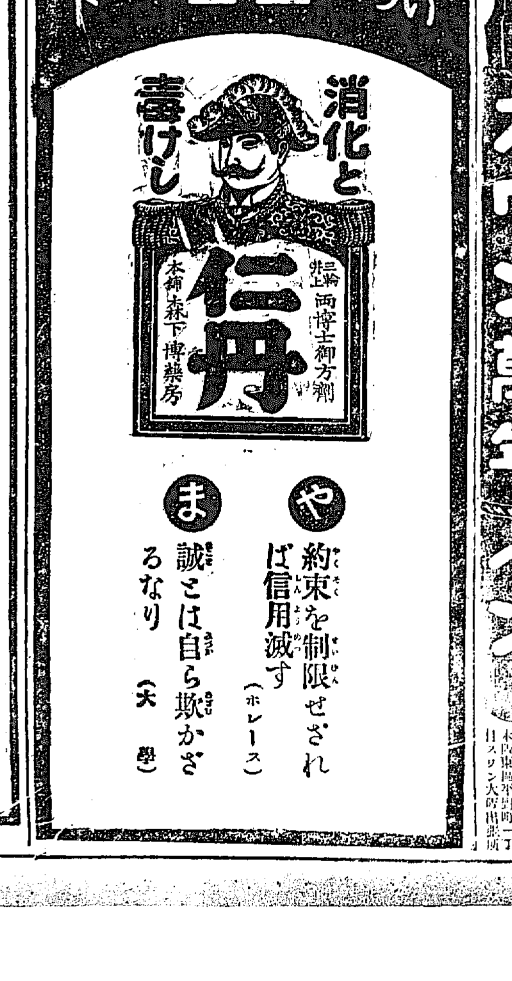
▲三碧 諸事他を守るの日新事見合御佛の事は吉▲四綠 有望の日轉居入學吉▲五黄 先見の低ふ事有利新事手控吉▲六白 謹を要する事新事手控事は吉依生に注意せらるべし▲七赤 商事落を意味する日新事手控新事は吉新取引は用心の事▲八白 不結の事不日新事手控事は吉▲九紫 東京▲一白 芽出度日轉居開業吉▲二黒 心を知られて立身を致す大吉の日也斯事は吉買物に用心せらるべし

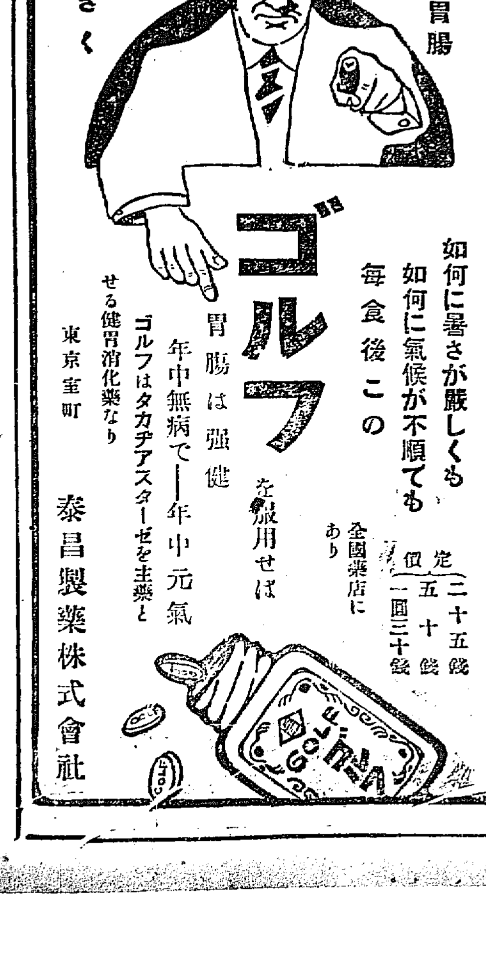
殖産銀行株
今般内地資産家の依頼に依り同株（二十圓拂込の分）高價買受可申候
高價買入申候　但し可成貳百株以下の分希望に御座候
公債株式現物賣買　新田耕市商店　京城櫻井町一丁目　電話長五七〇一八八一番

一番よくきく　マラリア特効丸　龍山林藥房製劑の　ニセモノあり御注意
本舗　京城本町　林藥房
代理店　京城　合資會社　山口大町　岸天佑堂
同　釜山辨天町　黑南海堂
同　平壤大和町　森田草樂堂支店

山縣五十雄　村上唯吉　共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替京城三〇〇　京日代理部

金鶴香水
値段改正謹告
金鶴香水　ツル香水　各種　壹割五歩値上
謹啓
歐洲戰亂の影響は益々輸入困難と相成加之原料の昂騰は停止する所を知らず從來の價格にては到底品質を維持致し難く乍不本意本日より値段改正仕候に付何卒御諒察の上一層御愛用の程奉願上候　敬具
大正七年八月廿日
鶴香水日本輸入元　大崎組商會　大阪市東區安土町四丁目





京釜線（南行）　同（北行）　京元線（南行）　同（北行）

第五版

京城日報

本紙定價 壹部金參錢▲壹ヶ月金七拾五錢▲郵稅[illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行[illegible]
發行兼編輯人 奥[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用長六二番 營業用[illegible] 振替京城三〇〇番

[illegible]報知し[illegible]救濟期間を六十日[illegible]金を合し七千五百圓に達せり又盛[illegible]中興楠山商行は同地古航方面の貧民に救濟費として金百圓を其筋に[illegible]等も其中にあり(鹿島電報)[illegible]奧地にて收容された[illegible]る者二十九名なるが同地俠客[illegible]

▲日曜附錄『[illegible]』 廿二日 廿三日
▲下旬付『如何しても』 廿三日 廿四日
▲(俗謠一京) 廿四日 廿五日
▲川柳『他人』 廿五日 廿六日
▲物は付『畑てるもの』は 廿六日 廿七日
▲(發表後)一週間以內に到着分は有效[illegible]寄稿者には五十錢[illegible]呈す但何欄何號と明記に限る▲宛名は京城日報社編輯局懸賞文藝係

京城日報

食料問題

戊申詔書の服膺を望む

食料問題は、平時に在りても大切なること論なしと雖も、目下の如き戰爭狀態の下に於ては、更に甚深の注意を要す。而も供給と消用との平衡を保ち、全國民の生活を安定するに就ては、獨り之を當路者の施設に一任するを許さず、國民各個の自制と奮發とに待たざるべからず。現時交戰國に於ける食料に關する施設を按ずるに、獨逸の如きは極端の規定を實行し、國內の食料は期年ならずして缺乏を告ぐるに至るべしとの推論を下し、英國は是に依りて優勢なる艦隊の力を以て海上封鎖を實行し、敵國を食料攻めにせんと謀りたるものなるも、案外にも獨逸の實際は、味方の思料せるよりも遙に大なる耐久力を現じ、開戰後四年の今日に至るまで、未だ食料の困窮より破綻を呈露するに至らざるなり。英國も亦獨逸の潜航艇戰略に惱まされ、一時食料の危殆に瀕したることありしも、其後漸次に諸般の狀態を改善し、且つ之がために政府部內に新たに食料に關する一省を新設し、閣員の有力者をして其任に當らしめ、國民に對しては獨逸と同じく食物制限令を布き事に遺策なきを期したるがために今日に於ては最早恐慌を來たすべき虞なきに至れり。米國に至りては、從來自由の鄕として世に知られ、個人主義の最も熾盛なる國柄なるにも關せず、參戰以來、飮酒を禁じ、無肉日を定め、小學校の生徒に至るまで報國的耕作に從事せしめ、以て國內の供給を饒にするのみならず、有餘を聯合與國に輸し、其の不足を補充しつゝあり。米國の如き個人自由を以て金科玉條とする邦に在りて、法律的に各人各個の欲望を制限したるさへ不思議なるに、國人翕然として此の政策に謳歌しつゝあるは、頗る奇異の觀なきにあらずと雖も、所謂戰時氣分の橫溢、民心の緊張せる結果に外ならずして、吾人の鑑みて以て自から慚愧すべきものにあらずや。

思ふに近時に於ける米價の狂騰は、大體に於ける供給不足にも因るべく、又奸商輩の釣上相場にも因るべく、或は農家の思惑的惜みにも因るべく、各種の原因錯綜する者あるに相違なしと雖も、戰昇以後一時の小景氣に煽られ成金熱に浮かれ、浮華虛榮に流れ、殆ど自制心を失ひたる國民の不心得が最も大なる原因を爲したる事は否むべからず。由來我邦は交戰國の一員たりと雖も、其戰場との距離餘りに遙隔なるを以て、國內毫も戰時氣分の漲るなく、加ふるに貿易の順潮、近來稀なる好況に在るの故を以て、却つて人心を驕奢に導きて、勤勞を怠りて冗費を增加するの惡趨に陷り、其狀恰も隣家の火災の光を借て、踏舞歡宴に耽る如きものあり、人心の頽唐此の如し其の推移する所寒心すべきにあらずや。乃ち近時內地に發生したる不祥の事態の如き、要するに此狀態の下に醞釀せられたる醱酵毒素の爆發とも稱すべきものなり。朝鮮に於ては事情少しく內地と異にするものあるならんも、一般の狀態を按ずるに、人心弛緩し、勤勞の割合以上に消費の量を增加したるの實は掩ふべからず。さらぬだに生產の微弱なる此土に於て、消費額一方のみを增加し行くの傾向を呈するならば、其結果の恐るべきは言はずして明かならずや。今や現に內地狂騰の餘波を受け、無前の米價暴騰を示し、一般民心に不安を與へつゝあり、之に就いて、一部の論者間には、鮮米輸出制限の急を叫ぶものなきにあらずと雖も、斯の如きは同胞相援の誼に戾り、本文の間に面白からざる疎隔を釀すの虞あるを以て、恐らくは當局者の考慮に入らざるべしと雖も、吾人の望む所はかゝる、消極的の姑息手段にあらずして、永久的に確實に自家給足の途を講ずるを以て、同胞の急に周からしむるの道德的經濟の實効を擧げんとするに在る也。

吾人は今にして明治大皇の聖慮の宏遠なるに恐懼せざる能はず其戊申詔書を下したまへるの時、何人か敢て今日の狀態を豫想するものあらんや。而も今日之を奉讀するに當り、字々句々、弊毒の中に照し、赫々として仰視すべからざるの光りを帶びざるはなし。今日既に然り、將來更に此弊毒の一層蔓延するの日あらば、吾人、何の顏ありて、先帝在天の大御魂を仰ぎ奉るを得んや。戊申詔書は範圍高遠、單に食料問題に關してのみ御趣意を窺ふべきにあらずと雖も、今日の病弊を一掃するの唯一の藥は、實に此の詔書の御趣意を一般に普及し、須臾も離るべからざるの規矩準繩とするに在り、殊に朝鮮に在りては一層の念切を認む。願はくは吾人千五百萬の同胞と共に、咨々服膺を忘らざらん。

チ軍の前途

▲東部チ軍 一部を沿海州に殘置して西進せるチェック軍は目下其主力は哈爾賓に停止し一部の先進部隊は西進して殆々哈爾附近に達せるが如し此方面のチ軍は東清鐵道を利用し一日も早く西進し友軍救援の希望を有せるも武裝の整備軍需品の蒐集、防寒具の購入等諸般の準備に相當の時日を要するを以て刻下の狀態を以てすれば滿洲里以西に進出しイルクーツク方面の中部チ軍と連絡を取り得るは今後尚可なりの期間を經たる後なるべく殊に昨年の例に徵するに後貝加爾州には十月四日に降雪ありしを以て今後冬季に入るは間もなき事なれば軍事上の諸準備を聯合國より補供するとするも冬季に入りて後のザバイカル地方に於ける作戰行動には幾多の困難ありと謂ふべく前途の行程の如きも滿洲里よりチタ市迄百十里、チタ市よりイルクーツク市まで二百五十里なれば三百六十里を前進して初めて中部チ軍と完全に連絡し得る計畫なり而して更に西部チ軍と連絡を遂する爲めには更に百五十里西進してエカテリンブルグ附近まで前進せざるべからず即ち最後の目的を遂ぐるまでには滿洲里より約五百里の行程を必要とし其大部は鐵道に依り得るものとするも前途頗る遼遠なり

▲中部チ軍 然らばイルクック附近に在る中部チ軍が先づ東方に向ひ後貝加爾所在の過激派軍を挾擊する如く行動し得るやと云ふに其兵力一地に集團せずして約一萬五千の兵員は鐵道沿線の各地に點在し相互の連絡を保持するさへ困難なる狀態なれば極東方面に攻勢を取り猛進するが如きは思ひも依らず又西部チ軍との連絡は途中別に武力的障碍を破る虞なきも餘りに長距離なる爲め各地に散在せる一小部隊の運動を以てしては容易の業に非ず而も中部西伯利亞は農產物の不足せる土地なるを以て糧食に缺乏し又交通杜絕し補供の道なきを以て軍需品皆無となり若し此の儘にして冬季に入らば恐らく非常の窮境に陷らん

▲西部チ軍 而して現在西部西伯利及び歐露にあるチ軍は其主力はサマラに集合し一部はエカテリンブルグ、チエリアビンスク附近に分屯し大體に於て集團せるのみならず該地方反過激派との策應により現下の狀勢は概して有利なるも未だ北露海岸地方の聯合軍との連絡を缺き武器及び軍需品の缺乏甚だしきを以て今後の發展には少からざる不安を伴ふものと觀測せざるべからず唯西部チ軍の指揮官チエチユル大佐が反過激派軍とチ軍との聯合軍指揮官たることを諾し且つ露國士卒のチェック民族約三十萬人中の有志家はチ軍の優勢なると過激派政府の強壓とを機とし續々加盟しつゝある模樣なれば其兵力は日を追ふて增加し漸次此方面は農產物豐富にして土民の歡心を得て糧食に事を缺かざるべき勢なるも同軍が勢力を得て歐露に深く西進せんか却つて獨逸勢力を誘致する虞なしとせず此の點深慮を要す

珍奇なる郵便局

矢野遞信課長談

米國エクワードルの海岸を距る西方七百五十哩の太平洋上にバラパゴス島なる一小島あり非常なる大[illegible]の棲息せるを以て有名なるが郵便局としても亦頗る奇なるものあり

◇其郵便局は只一の桶に過ぎず此桶の中には此の附近來往者の爲めに郵便物を受授し得る樣郵便物を投入しあり此附近を航海する者は孰れも此郵便局の所在を熟知せるを以て此の郵便局の附近に來りたるときは此桶の中を搜索し自己に宛てたる郵便物は之を取り得べしといふ

◇斯の如く保管者なき桶の中なる郵便物は果して安全なりや否やは一種の慣習又は信仰に依るものにして余の鄕里の四國の山中にては或は果物を籠の中に入れ一個何錢と書し人家を離れたる地點に於て桶か或は五個一錢とかの木札を付したる儘之れを放置し置くも[illegible]なしと雖も常に通行人の支拂へる金錢と減少せる果物の數とは一致すとのことなり

◇又米國の都市にては郵便往函又は撒函に郵便物の充滿せる場合に於て往々函上に郵便物を載せたるを見ることあるも[illegible]紛失することなしとのことなる斯の如きは公德心の發達せる證なるべし

兒童學の進步 (八)

於朝鮮教育研究會 高島平三郎氏講演

粘性浮腫	バセドウ氏病
[illegible]脈の	甲狀腺肥大
皮膚冷	[illegible]
頭髮[illegible]	皮膚溫(發汗)
眼裂狹小	眼裂大 眼球突出
消化液分泌少 食思少	消化液分泌多 食思[illegible]
代謝機能減退	代謝機能亢進
外皮乾燥	外皮濕潤
指短大 指端鈍	指小 指端尖
嗜眠	不眠
成長[illegible]	成長過[illegible]
思想沈滯 感情麻痺	思想過敏 感情變轉
四肢不動	四肢振顫
寒冷感	溫熱感
呼吸緩慢	呼吸急速

粘性浮腫に罹ると子供は一向育たない。まるで馬鹿見たいになる。何時迄も治療を施さぬとぼんやりして如何にも馬鹿の樣に見ゐるけれど、治療すれば立派に癒る。昔から馬鹿につける藥は無いと言ふが今日は馬鹿につける藥が有る。どうして癒すかと云ふにホルモンを注射する、併し人間のホルモンを取つて注射する譯には行かないから羊のホルモンを取つて之を患者に注射して美事に治療して了ふ。もう一つ子供の發育上不思議な働きを爲すものは大腦下垂體の松下腺と云ふものである。之からも盛んに液が出るが此處が疾患に罹ると子供は時に異常の發達を爲す。世間に十歳位で體量が十八貫あるの二十貫あるのと云ふ者も稀にはあるが、此種の子供は非常に性慾も發達し女の子供であると六七歳で、男の後許り慕うて仕方がない。下垂體の松下腺から一種の液が分泌する結果所謂才氣煥發で、子供であり乍ら顏は大きくなり、宛然大人のやうになる。一體人間の顏と頭との割合が年代に依つて違ふものである。大人になると、顏と頭とは半々の割合になるが、子供程頭の方が大きい。であるから繪を描くにしても人形を拵へるにしても、子供の顏と頭との割合を充分に研究したならば其の繪や人形を見て、幾歳位の子供であるかを判斷し得らるゝ位のものである。所が夫れは餘り研究されて居らぬ爲め、大人の如な子供の繪や人形が出來上つて、一向子供らしい感を與へ得なくなる——下垂體から液が分泌すると、小さい子供であり乍ら、顏は大人の如く大きくなり、如何にも生意氣な顏貌になる。のみならず色々難しい質問を出して人を困らす。例へば此の種の子供は人間は何處から來たものかどうして生れて來たものかなぞとお母さんを困らす樣な問題を出したりするものである。夫れから人間の身體及び精神は發達するか、何故一定の所に達すると夫れ以上に發達せぬものである歟、之を說いた人は未だ無い。然るに近頃になつて、全くホルモンの作用に基づくものである事が明かになり、一定の程度に進むと人間の心身が發達せぬのは即ち順應作用に因る事が判つて來た。ホルモンの出る時期は大體定まつて居る、子供の時から既に群を拔いて偉い樣なのは、所謂天才であつて、天才は發達が速かであり且つ天分がよいから何時迄も進む事がある併し一般普通の子供はさうは行かぬ。近頃早教育の必要を說く人があるが、私は早教育其ものに必ずしも反對はしないけれど、早く教育すれば偉くなると云ふ理屈は無いのである。何故なれば子供の心身の發達する順序は定つて居るから、無暗に早く教育したとて教育の効果は現はれるものでは無いと云ふ事は心理學殊に兒童學の發達すると共に明かになつて來たからである。

こゝで一寸我々東洋人の名譽を毀損されて居たのを恢復し得た事實を申述べたいと思ふ。夫れは外でもない。御承知の通り子供の尻には靑黑い斑點がよく現はれるものである。日本では之は天狗につねられたんだと言ふ、甚だしきは姙娠中に不行儀を爲たからだとも言ふ……兒斑は東洋では蒙古人種も朝鮮人にも有る。無論日本內地人にも有る。此度私は群山で講習をやつて居たので、ちよい〳〵裸體の朝鮮人の子供を見たが見るともなしに見るとちやんと兒斑が有る。此點から言うても我々と同人種だと喜んだ事であるが西洋人は從來斯う言うて居つた『白皙人種には兒斑が無い。兒斑のある人種は犬に近いものである』として見ると我々は犬に近いものになる。犬の腹を見ると斑點の大きいのが所々にある、我々は大和民族だと威張つて居るもの、西洋人は兒斑がない、兒斑の有るのは動物……犬に近いんだと論斷して居つたんだから實に心外であつた。所が私の友人の安達文太郎君が酷く憤慨して、宜い大にやつて一つ兒斑の研究をやらうと云ふので洋行して永い間研究を重ね苦心慘澹の結果、白皙人種は皮膚が白いから兒斑は無い樣に見ゐるが、組織學上から研究すると白皙人種と雖も兒斑の有る事が明かに證明される。顯微鏡で檢べて見ると確かに兒斑が有る。唯白皙人種の皮膚には色素が少いから兒斑が目立たぬ丈である事を發表し、同君は兒斑の研究で博士號を得、從來我々東洋人の毀損されて居た名譽を恢復して呉れた。兒斑は從來迷信的に解釋されて居たが、科學の光明に依つて其の然る所以が明かになり、而も獨り我々東洋人のみならず白皙人種にも有る事が判明し來つた。右は單に人種的興味として申述べた迄であるが要するに人種と云ふものが如きは、極めて薄弱なものであつて能く研究すれば異人種と稱するもの、中に頗る共通點の多い事が判明して來るのである。

◇竝行線休載 原稿不着に付本日休載

東京工科學校
電工・機械・建築・採鑛冶金・土木 本科 一期 二期 及電工高等科 生徒募集
一期中學卒業 二期中學三年程度 無試驗編入
新學期九月六日 願書九月五日限 授業夜間 規則要郵券二錢
東京神田錦町三丁目 振替東京參參七〇[illegible]

少女畫報
小女新聞 見本進呈
九月號 定價[illegible]
東京京橋區[illegible] 東京社 振替東京四千九百番
寫眞小說 秋の夜物語(森の女神) 本社が莫大な費用と、畢生の苦心とを竭して撮影せる大傑作
□お茶のし 渡邊たく子 □月の遠出 出陽子
(畫報) ◎道に止めの畫 ◎[illegible]なる景色 ◎英國少女の活[illegible] ◎[illegible]な女學生の生活 ◎博覽會の野球 ◎朝鮮の秋 ◎働く少女たち
□少女英文『影法師』 □綴物語『お月樣』 □秋風立ちて □收穫の準備
◎米國から東京へ 名花 伊藤博士
懸賞大探寶し 誰にも面白く出來る懸賞本號に發表
◎乞食は怠け者 下田次郎 ◎食べられる鳥の巢 竹島教諭
▲少女小說 蝶の子父 小劍 ▲各女學校徽章 ▲女學校評判記 ▲お人形 細方
少女小說 白菊 [illegible]亭 ▲草花の趣味 [illegible]和
◎九死の一生…和田雅夫 ◎小さな舟で大航海…石塚月亭
少女お伽 五色の馬(子町) 百白合(子信)

募集 第一學年無試驗編入 ◎幼年保護の特別教授 寄宿舍あり
京都中學校 京都市岡崎町

◎今般左記の通り改稱致候間廣告候也
營業科目 勸業債券 有價證券 外國證券 現物賣買
報國公債株式會社滿洲支店朝鮮支部
京城若草町百六番地 電話長三〇壹 振替口座京城六九六番
◎各地出張所長◎外勤社員招聘

極意 新式圍碁寶典 第四卷
圍碁活法の各秘訣四目乃至先に至る布石法を前人未到の域まで解剖說明卷尾に初段實力試驗
五段鈴木爲次郎先生著
和裝推本一二三四 價各六十五錢 送各四錢
大阪屋號 東京振替二五七三番
難問及王解規定等

多くを論ずる勿れ 朝鮮のポンプは熊平なり
京城本町 熊平支店 電話長一六一二 三四五番

◎眼科專門 入院隨意 荻原醫院
京城府明治町一丁目五十六番地 電話貳貳六七番

朝鮮總督府編纂 朝鮮大地圖
▲八十萬分ノ一縮圖 ▲縱四尺五寸橫二尺五寸 ▲折疊定價[illegible] ▲軸製定價[illegible] ▲送料十二錢
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色とする處は二三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり又諸官衙所在地等正確なるは其特色とす
發賣所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 電話長六〇〇九番 構內十八番
京城日報社代理部

自轉車タイヤの數は星の數ほどありと雖も
如何なる道路も確かに安んじて使用し得べきタイヤは
ダンロップを措いて他に何物である
苟もタイヤを經濟的に使用せんとする人々は須らくダンロップを用ふべきなり………
到る處の自轉車店にあり

理學士岩崎重三氏著 最新刊
日本鑛石學 第四卷 銅篇
◆菊判上製本 定價金四圓參拾錢 送料金拾六錢 ◆密圖貳百餘圖 石版圖拾貳版
岩崎先生の日本鑛石學は編を加ふる每に斯學界の驚異を生み我鑛業界の期待を大にしつゝあり今や重要にして最も興味多き銅篇の研究は完成せり。全體の系統を接觸鑛床・硫化鑛床・黑鑛鑛床・鑛脈・鑛床總論・礦物・製錬の九章に分ち[illegible]
◎理學士 岩崎重三氏著書
日本鑛石學第一卷 總論 增訂第五版 定價金參圓 送料金拾貳錢
日本鑛石學第二卷 金銀篇 增訂第三版 [illegible]
日本鑛石學第三卷 [illegible] 增訂第二版 [illegible]
實用礦物學 增訂第三版 [illegible]
探鑛法 增訂第三版 [illegible]
本邦岩石圖 定價金五圓 送料金貳拾錢
實驗岩石學 增訂第八版 [illegible]

改刻二版 主要岩石肉眼的鑑定便覽
小泉忠夫氏著 秋田鑛山專門學校助教授 定價金五十錢 送料金六錢
これは何と言ふ岩石なりやこの疑問に對し平易に答ふべき良書の刊行を待つは啻に鑛業家、土木家、建築家、教育家のみに非ざるべし。然るに未だ遺憾なからずや[illegible]

最新刊 フルトン 最近乾式試金術
農商務省仙臺鑛務署分拆主任 永野英輔氏譯補
乾式試金術の絕對權威たるフルトン氏の名著譯出さる
菊判上製全一冊 紙數五百餘頁 定價金貳圓八十錢 送料內地金拾貳錢 海外金四拾錢 高雅なる新裝幀
本書は此世界的名著の全譯なるのみならず更に[illegible]

東京日本橋區 內田老鶴圃 振替東京[illegible]

○朝鮮在米調査（六）
及び新米出廻迄の過不足見込量
＝本社に對する各府郡の回答＝

▲高靈郡（慶北）　在米千九百石新米出廻期迄剩餘千二百石
▲金泉郡（慶北）　在米二百二十四石籾千二百十六石新米出廻期迄過不足なし
▲金海郡（慶南）　在米籾千二三百石新米出廻期まで不足四百石
▲黃州郡（黃海）　在米籾二千六百九十三石米五百九十三石新米出廻期まで剩餘五十石
▲義州郡（平北）　在米籾二千五百石新米出廻期まで不足なし
▲中和郡（平南）　在米三千五百石新米出廻期まで剩餘二百石
▲大同郡（平南）　在米八百石新米出廻り明まで不足なし
▲鳳山郡（黃海）　在米二千二百石新米出廻り期まで管外に移出なき時は剩餘百石
▲善山郡（慶北）　在米七百石新米出廻り明まで不足なし
▲咸平郡（全南）　在米七千二百石新米出廻り明まで剩餘千石
▲沃川郡（忠北）　在米三千二百七十石新米出廻り期迄剩餘二千百八十石
▲華川郡（江原）　在米五百石新米出廻り期迄過不足なし
▲尙州郡（慶北）　在米籾四萬六千石新米出廻り期迄剩餘籾二萬二千六百石
▲永同郡（忠北）　在米二百九石籾二千六百六十七石新米出廻り期迄不足千石
▲坡州郡（京畿）　在米二百五十石籾二千五百石新米出廻り期迄二千七百石不足見込なるも麥、粟等の貯藏あるが故に左程不足を感ぜず
▲平山郡（黃海）　在米三千四百石新米出廻り期迄不足なし
▲寧邊郡（平北）　在米百石新米出廻り期迄には不足するも他の穀類を使用すれば別に不足を感ぜず
▲長湍郡（京畿）　在米二千石新米出廻り期迄不足なし
▲鐵原郡（江原）　在米千石新米出廻り期迄不足五十石
▲平原郡（平南）　在米六千三百二十石新米出廻期迄過不足なし
▲安邊郡（咸南）　在米八百七十石籾五百七十石新米出廻り迄剩餘百石
▲靑松郡（慶北）　在米二千石新米出廻り期迄剩餘四百石
▲義城郡（慶北）　在米四千十五石新米出廻り期迄過不足なし
▲昌寧郡（慶南）　在米四千石新米出廻り期迄過不足なし
▲英陽郡（慶北）　在米千五百石新米出廻り期迄過不足なし
▲金化郡（江原）　在米三千七百石新米出廻り期迄雜穀多ければ不足なし
▲漣川郡（京畿）　在米千三百石新米出廻り期迄不足二千石

○朝鮮と簡易生命保險（二）
半島郵便貯金の預入漸増

事業開始後の状況は頗る結果良好にして本年三月末の現在契約者は終身四十三萬人契約金高三千九百萬圓養老二十八萬人契約金高二千二百萬圓合計七十一萬人の六千百萬圓を算し更に之を職業別に百分比例することは左の如し

農業	三三・三	商業	一四・七
工業	八・九	漁撈業	一・八
雜業	六・二	官公吏軍人	四・二
教員	二・三	學生	二・〇
諸業者の家族	六・一	無職	二〇・三
職業未詳	〇・二	合計	一〇〇・〇

本表に就て見ることは契約者の大部分が豫期の如き

▲職業に分布　され瞭かに簡易保險經營の目的所謂社會政策の趣旨に副ひつゝあるを見るべきなり、而して朝鮮に於ては内地の如く具體的に調査の機關を設置されざりしも明治四十四年頃より遞信局に於て之が調査に着手し各國の小口保險制度を調査斟酌し朝鮮社會の特殊なる事情に適切なる具體的法令案を得たるが如くなりしが其後内地保險の法令案發表せらるゝありて更に參照研覈し客年經營に關する全部の調査終了し其の筋に提出せられたる由なりしも何等かの事情の下に未だ實施の機運到來せざるは寔に遺憾に堪へざるなり。由來朝鮮人は多年の苛政誅求に疲弊困憊其の極に達し勤儉貯蓄の美風良俗の如きは蕩然として地を拂ひ遊惰自棄の陋習は漸次

▲國民の通有性　と化し此の結果は李朝の晩年遂に國民相互に於て弱肉強食の狀態を無限に助長し兩班階級を結んで所々に跳梁し彼等の眼中統治者なく無辜の良民を脅かし殆ど暗黑なる時代と化し而も良民は一面政府の苛斂に窘迫され其結果は愈々業に服する者は却て生命財産の危險を感ずるを以て勢ひ業を拋棄し良民も遂には漸次不良の暴民に左袒し政府の權威全く地を拂ひ鷄林の山野到る處賊徒の巢窟と化し疲弊振はず興業萎靡し爲に國民の風習は徒に旦暮の生計を盜むを以て寧ろ安全なる策なりとなし遊惰自棄の因襲的陋習は深く

▲彼等の腦裡に　印せられ自然自己の生計に不足を告ぐるときは他人の財物を掠めるも何等の罪惡なりと思惟せず漸次道義の觀念又廢頽するに至れり

○露國後繼政府

レニン、トロツキー等の過激派政府主腦が反過激派の壓迫に堪へずしてクロンスタツトに遁走せり

この說は略事實なるが如し扨て何人が後繼政府の中心人物たるべきや斯科矣は今尙騷擾中にして歐露中部一帶は混沌狀態に陷れるが如し獨逸大使の避難せるも墺國大使の赴任躊躇も混亂の渦中に投ずるを虞れたる結果なりと察せらる刻下の露國に中央政府を樹立せんとするには獨力政府組織に當る能はざるは明かにて獨逸の勢力に依るか協商國の勢力に賴るかなるに非ざれば到底樹立の見込みなし然るにムルマン地方に兵力干涉を試みつゝある聯合國の勢力は其實力尙ほ不充分にして露國政治家に於て協商國の勢力下に立たんとする希望ありとするも之れに應ずる準備を缺けり從つて露國政治家中の何人が新政府の樹立を圖らんとするも獨逸に依賴するの外他に道なしと謂ふべし現在獨逸軍の歐露に駐屯せるは約五十一個師團にして恐らく獨逸は此兵力を利用して兵力干涉を試み親獨的政府の樹立に努むべし露國に於ける過激派の一部及び立憲民主黨の一部には親獨傾向を生ぜるを以て或は此等の黨派中より新政府樹立を圖るものを出すやも知れず兎に角今回過激派政府を顚覆するに與つて力ありし左黨一味は甚だしく反獨傾向を帶ぶるを以て同黨より後繼者を出すべしとは信ぜられず要するに露國の政變に伴なふ獨逸の兵力干涉が如何なる程度に於て實現すべきかは刮目に値せりと某露國通は語れり

○西間島の貿易

昨秋滑會線の開通は間島地方貿易に甚大の影響を及ぼし延て頭道溝及び西間島の貿易界に影響せし所亦少からず昨年十月以降本年四月まで七箇月間の總貿易額は五萬圓にして尙逐年交通の頻繁を加ふると共に其取引高の漸次增大を來すべき狀勢なり今之れが狀況を聞くに西間島とは奉天省の安圖、撫松、樺甸各縣の一部分の總稱にして此の地よりは吉林、敦化、奉天甲山に通ずる四條の道路あるも物資集散經路としては頭道溝より通ずる道を比較的便利となす頭道溝より二道溝の溪谷を溯り商集鎭（九里）を越迄に初めて西間島の地域に入り東崗子（嶺上より五里）を經て與道溝、蛇柳揮河、三仁坊、靑石河、兩江口、十腰嶺等の著名なる諸部落に達す此行程二十里乃至三十五里と稱せらる而して高山嶺は有名なる森林地帶にして草賊の巢窟として通路濕地多く且つ險惡にして漸く馱馬を通ずるに過ぎざるも冬期は凍結するを以て比較的容易なり夏期に於ては通路險惡なるのみならず高山嶺附近に無頼の徒徘徊し兇惡を逞しふするを以て此間の往復極めて稀なり隨つて取引も重に冬期間にして夏期は殆んど杜絕の有樣なり然れども最近移住鮮人の增加は森林地帶の開拓と相俟つて交通も漸次安全なるに至らん運賃は冬期間に於て馱馬一頭片道六圓乃至八圓なり貿易品は移出にありては粗布類、石油、食鹽、燐寸、紙等移入に在ては白臘元、藥草、獸皮等也

○南水直通工事

南大門驛より京義線水色驛に至る間の直通工事は客月末總督府より滿鐵京城管理局工事申請に對し施工許可の指令あり管理局にて有力請負人に對し指命入札を行はしめしも工費の點に於て容易に折合ず尙は工事請負人決定せざるに付從つて起工期も不明なれど近く何等か解決すべしと

○農銀株競賣期

殖銀株の割當てを受くべき現在六農工銀行株は本月十五日迄に全部殖產銀行設立事務所に提出の事となり居れるが該株主は殆ど全鮮に亘り居れるを以て僻陬の地は從つて遲延を來し未著のものあるも右株式の內藥種株、放棄株に對しては規定により之を競賣に附する事となり居れるもソハ藥種株數決定の上ならでは不可能なるを以て多分本月末頃ならん而して競賣に附せらるべき株數は現在の狀況より推測し殖產銀行株に換算して約三百株內外に達すべしと

○軍司令官巡視

軍司令官宇都宮中將は十九日步兵第四十旅團司令部及び步兵第七十九聯隊を巡視したるが二十日も引續き衛戍病院陸軍倉庫及び朝鮮步兵隊を巡視すべしと

○吉田博士講演會

教育研究會主催吉田博士の講演會は既報の如く十九日午後四時半南山町高等女學校講堂に於て開かれ演題は『個性と國民性』にて博士は個性―個人の氣質に對する觀念と國民を團體とした國民性の特質に對し頗る有益の講演をなし約一時間の後閉會したるが來聽者は約二百名なりき

○米對露貿易

貿易激增、今や露米貿易は如何なる狀態にありや殆ど知るべから[illegible]

露國輸入額（單位千底弗）

年	總輸入額	對米輸入
一八七八	[illegible]	[illegible]
一八九〇	[illegible]	[illegible]
一九〇〇	[illegible]	[illegible]
一九一〇	[illegible]	[illegible]
一九一三	[illegible]	[illegible]

而して米露相互間の貿易增加率は兩國の對外貿易總額の增加率よりも遙に大なるものあり試に一九一一年より一九一三年に至る三箇年[illegible]

▲對米輸出入を見るに悉く原料品にして就中皮革羊毛馬毛、馬尾毛を其の主なるものとし之に次ぎては亞麻にして二千七百七十三萬千封度大麻百六十二萬四千五百封度、[illegible]三千四十萬封度を輸出せり而して米國より露國に輸入さるゝものは一九一二年より一九一三年[illegible]

九ミシン七六八計器類[illegible]にして一九〇六年より一九一〇年に至る平均年額に比するに農具類四割八分小麥粉八割[illegible]は前に云へるが如く露國は原料品を米國に輸出し機械類其他の製品精製品棉花小麥粉を米國より輸入し最も密接なる有無相通の關係[illegible]

[illegible]易の五割二分六厘を占めたる獨逸の[illegible]品を驅逐して米國之に代り全然地位を奪ふるに至り將來露國市場に覇を爭ふもの米か獨か[illegible]の念熾烈なる事は何人も想到しうべき處にして米が日露間をなるべく疎遠ならしめ且聯合諸國の對露關係をして[illegible]

○手形交換漸增

前週中に於ける京城手形交換高枚數一萬三千八百八十九枚此金額四百七十九萬七千九百五十四圓にして前々週に比し枚數に於て千六百二十三枚金額に於て二十六萬三千三百十一圓の增加を示せり

○東拓移民應募狀況

八月十日現在東拓第九回移民申込數第一種五百三十九戶第二種百四十二戶合計六百八十一戶にして內內地申込四百六十二戶朝鮮內申込二百十八戶なりと

○東洋畜產開業期

資本金二百萬圓の東洋畜產會社は去る十六日總督府より會社令により設立を許可されしを以て創立事務所を東拓社內に設置し既に事務を開始したり尙ほ開業は目下の豫定にては十月十日頃の豫定なりと

○鮮銀券發行週報

八月十一日より十七日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千九百十七萬七千五百二十二圓にして週末の發行高は六千九百六十萬三千圓を示せり尙ほ右の中保證準備發行は四千五百七十三萬一千圓なり

○城津港灣の浚渫

城津港は近く鐵道の起工と同時に諸材料の輸送揚陸さるゝ曉に於て果して不便なきや否やを危まれ居りしが數に元山土木局出張所長野口技師城津に赴き古川福松に指名して浚渫工事を請負はしめたるが請負金九千三百圓にて城津は防波堤內六百坪を干潮面より四尺下迄浚渫し此の外防波堤に二百六十六坪の捨石を爲すべく八月十二日より着手し十二月十二日を以て竣工期とせり而して浚渫したる土砂は埋立地の埋立に使用すべく右防波堤の西側の海岸に運びて埋立て約千四百坪（與行二十間中七十間）を埋築し堅固なる護岸を設くる計畫なりと

○鑛業登錄（自八月九日 至同十四日）

▲鑛業權設定
鐵　黃海道海州郡月祿面　九十五萬四千九百坪　府田遊龜四郎
黑鉛　平安北道鐵山郡丁惡面　三萬九千四百五十一坪　松本虎三郎
金　江原道洪川郡乃村面化村面　八十五萬七千九百四十坪　李宇榮、柳潤遷
金銀銅鉛亞鉛鐵　同原州郡神林面　五十六萬千百十七坪　神林啓太郎

▲鑛業權移轉
京畿道坡州郡炭縣面衙洞面　加藤恐晧
同　同人

▲鑛業權表示更正
金銀銅鉛タングステン鑛　江原道寧越郡下東面
鑛種名を金銀鉛亞鉛タングステン鑛と更正す

○大阪より

▲脫脂綿輸出狀況　脫脂綿はガーゼ類と共に時局の爲需要大に增大し米國を始め支那南洋方面の輸出益々活況を呈せり米國へに對しては同國が大戰に參加したるにより俄に需要の激增したるに起因するものなれども此の事情の全く之と異なり戰前米國、英國及び獨逸より供給を仰ぎゐたるが大戰勃發のため此等諸國よりの供給杜絕したるに因るものなり。而して又戰前には原料として粗惡なる支那綿を用ひたるにより或は歐洲人の需要に適せざるやの懸念ありしが近來此の豫想に反し一般に好感を以て迎へらるゝに至れりされば時局の擴大と否とを問はず將來

▲金物市況區々　米政府の銅價公定は三十仙に引上げらるべしと傳へられ居れども既に二十六仙を引上げたる事と据置に決したるより三十仙に引上げを豫想して買進みたる連中の投出すもありヂリヤスの步調を呈し安價扱尼爾石は大戰に於て保合の商狀にあり這般來暴騰に暴騰を重ね錫相場も益高値保合なるが亞鉛は非常なる八圓五十錢乃至九圓臺に反撥し氣丈の成行きを呈し居れり

▲乾物尙氣丈　出兵の決定と共に引續きの趨勢となりたる乾物市場は引續き就中凍豆腐、干瓢、干椎茸等は最も氣丈なる方なるが寒天は品薄なれど輸出の不況よりして取引極めて閑散なり

▲硫化染料の狀況　硫化染料は大戰の開始輸入杜絕に刺戟せられ我國に於て生產するに至れるが近時益々好況に向ひ黑、茶、綠、カーキ等色の種類も增加し需要を充すに至りたるのみならず品質に於ても益々改良せられ之を以て印度及び支那方面にも輸出せらるゝに至れり

▲洋紙品薄　洋紙界は米國よりの供給著しく縮少したると一般商況に應じ需要激增したるを以て昨今大に品薄となれり勿論英國方面より可なり供給を仰ぎつゝあれど價格の點に於て[illegible]

▲肥料相場暴落　米價の低落に追從して肥料界は一般に强調の成行を演じ居りしが各地に於ける米騷擾に買方の利食急ぎとなり硫安は十、十一、十二月物三百八十五圓―二三月物三百七十圓と漸落し居り十五圓方の暴落を示し豆粕も亦八月物五圓十錢九十月物五圓十五錢と高値より二十錢方低落し魚肥及び過燐酸等亦一般に下追ひの步調を呈しろゝあるが豆粕相場は神戸の騷擾の爲め十三日以來取引中止の姿にて其後諸肥一般に軟弱の氣配を示しつゝあり

▲糖價先安　砂糖出廻期は一段落を告げたる今月分蜜八限十四圓二十錢九限十四圓三十錢T AB現物十九圓三十錢見當を稱へ精糖二十六圓十錢精糖はエスは二十六圓位又瓜哇黃双は十七圓三十錢即ち內糖と比し約二圓方の安値なれども品質粗惡なれば需要は寧ろ高値の內糖に需要あり猶先物は數分の安値を示すべく觀測さる（大阪支局）

◇西藏軍四川に入る

西藏軍は英國後援の下に四川省に入れり（北京電報）

○川上理事東上

東拓理事川上常郎氏は近く出發東上する由なるが右は東大社務少からず高瀨理事も鮮上中なるを以て本社にて重役會議列席の爲なりと

人事消息

▲長谷純一郎氏（東拓技師）　二十日朝出發東上すべし
▲三木新一郎氏（咸北道事務官）　十九日夜歸京
▲法學博士[illegible]　十九日夜歸京

○電報延著

東京方面の電報は頻々延著のため本紙締切に間に合はず締切後着の分は夕刊に掲載すべし

鳥瞰雜俎

▲西部戰線の戰鬪は鳥渡狂犬を追ひ廻して居る形だ▲獨軍は尻尾を捲いて逃げながらも時々齒を剝出して飛びかゝらんとする▲何うしてまだ油斷は出來ない本舞臺の結末は其う容易に埒は明かぬ▲米國は時局に對して總てを徹底的にやつて居る▲時局最後の鍵を握らんとする風態を宣示して居る▲米國の決心から見ると戰爭は永引くと見るのが至當の判斷である▲時局は何處迄進展するものか實に送迎に遑がない▲中にも一度點火された西伯利の火は見る〳〵火勢は非常に擴がり中になつて來た▲西伯利事件の當然の主人公たるべき地位に立つ日本が此の間に切迫する責務は隨分重大であらねばならぬ▲恰も歐洲大陸の大戰が勃發以來漸次今日の大輪廓を大規模になつたと同じく極東の事態も何處迄發展するか▲此奴はお釋迦樣でもまだ知るまい兎に角異常の用意が無くてはならぬ▲異常の用意と云へば墺匈國の高官は皆土地を賣つて金に換へて居る▲と云ふのはイザとなつたら其金を握つて他國に逃げ出す考へで前外相のチエルニンや前首相のクラムコルチニッツなども其組である相な▲此異常の用意は餘り感服が出來ぬ▲イヤサ此奴には困る▲世界の大きな事を一手に買占の樣にして居る米國は兎に角何と云つても大きな事計り▲鳥渡一年中に盜まれた自動車丈でも價額は八百三十一萬六千六十六弗▲十箇月間五十箇所の大都市で盜まれた自動車が二萬二千七百五十臺其內の八千臺は皆目行方不明だとは流石は米國▲ウイスコンシン州では僅に一頭で廿一萬二千圓に賣れた牛がある▲賣りもしたもの買もしたもの恐らく世界古今を通じて之れ程高價な牛はなからう▲イヤハヤ貧乏人は聞いた丈でも癇癪になり相な話だ

○心當りの者はないか

朝而町警官派出所に於ては去日早晨同所附近の路傍にて手提鞄一個を拾得したるが[illegible]

▲廣告

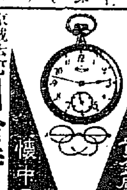
商業登記公告
株式會社漢城銀行水原支店登記事項中取締役監査役ノ退任ニ付左記ノ通リ變更
取締役 ……（以下人名）
大正七年八月登記
京城地方法院水原支廳

公告
警務總監部
任用試驗…（志願者ノ出頭スベシ）

購買入札
朝鮮總督府
大正七年八月……

東京本所長崎町三三 日本發明獎勵會

左官建築材料
セメント　石灰　硅藻土　火山灰　左官材料一式　各種色土砂　布海苔苆　各種塗料品　左官用、東京鏝　煉瓦用、東京鏝　建築材料種々　各種耐火煉瓦　煉瓦土管瓦　各種苆類製造
九州火山灰合資會社特約販賣
京城電氣株式會社製　瓦斯コークス　コールタール　小野田セメント株式會社製　石灰特約販賣
京城旭町一丁目　電話九八四番　卸商　戶澤商店



京城本町二丁目　川合時計店　電話一九一八　振替京城一二一九

●殖產銀行株●
高價買入申候
今般內地資產家の依頼に依り同株（二十圓拂込の分）高價買受可申候
但し可成貳百株以下の分希望に御座候
公債株式現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目　電話（長）一五七一・一八八〇番

最新刊
書名	著者名	定價
國歌大觀	松下ノ三郎 渡邊文雄共	一・五〇
帝國の危機大戰 わかくさ少女文集	野中春月 研究社	一・六〇
髙麗川住在朝教論者	定價壹圓貳拾	六〇
▲朝鮮語の先生		
ゲーリー式の學校	田中光看	特七五
新らしき村ノ生活	武者小路	八五
米國大學と日本學生	加藤	六五
高杉晋作	碧瑠璃園	一・四〇
禪機世機	京津韜樹	一・二〇
東海道中膝栗毛輪講	三田村鳶魚	一・二〇
驚異の卷		
大正七年 遞信地圖	遞信局編 鮮製貳圓五拾錢	折疊圖
中學新書	諭令村	八五
書簡文規範及文例	坪內孝	八五
自動主義遊戲敎授の革新	高島平三郎	七〇
京城本町　大阪屋號　電話六四〇番・二〇八六番　振替京城二五七三番

製品目錄
フチゾール 粉末
フチゾール 注射液
フチゾール 錠劑
フチゾール 含利別

製造所　共立實驗化學研究所
大阪市東區平野町三丁目
發賣所　藥品貿易商　岸田市兵衛
大阪市東區道修町三丁目　電話長本局一五〇四番　振替大阪三〇七九番
特約店　藥品貿易商　田邊五兵衛
電話長本局六〇一・六〇二・二七六二・二八一二番

適應症　神經衰弱　性陰萎　精神的陰萎　衰弱性射精　早漏　夢精　遺精
ゴスペール本劑は肉體の營養強健を…（以下効能文）
定價 九錠入金一圓　廿一錠入二圓　六十錠入五圓五十錢　百廿六錠入十圓
發賣元　東京下谷區長者町　竹島製劑所　特約　東京南鍋町二　吉田萬珠堂

資本金六百萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城黃金町　電話四二〇、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候㊥右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

國家の爲めに
醫家諸彥に急告す
呼吸器病治療藥の暴騰に就いて

戰亂益甚だしく今や世界何れの國も自營自給の聲に滿たされんとす、就中醫藥の如きは國民保健の大問題に係り最も痛切に其然るを感ぜずばあらず、殊に患者の最も多き呼吸器病結核症に於ては藥物療法として其卓効藥に乏しく而も從來慣用せる主要藥品は悉く輸入品たるが故に炭酸グワヤコール、チオコール、炭酸クレオソート其他製品の暴騰實に驚歎すべく當今壹百瓦猶其壹封度を購ふに足らざるもの多し被治療者の慘狀思ふべき也、吾人は斯藥の研究に從事する事久し、其苦心と努力は漸く原料の製造に成切し、顧問桂田富士郎博士の指導を受け第一期製品としてグワヤコール誘導體のカルチウム化合物を得、之れにフチゾールPhthisol と命名し以て此の國家の危急に應じたり、發賣日尙淺しと雖幾多の臨牀大家は呼吸器病に特効あるを推奬せられ世上の所謂結核治療藥と其撰を異にするは、勿論炭酸グワヤコール、チオコールの如きも本品に向て何等の權威を認めざるに至れり

以上の如く絕對的內地製品を得て勉めて廉價に供給せんとす。微衷幸に空からず今やフチゾールは呼吸器病の特効藥として國民保健の一助たる光榮を有す希くは大方國手の速に本品を善用せられん事を。

皆さん廉い米をお買ひなさい
何人でも（名前を云ふ必要は有ません）
市內各交番にて
白米割引券　一升券一人五枚以下
お貰ひになつて京城白米商組合店にお出でなされば一升に付時價より十錢割引致します
京城白米商組合

外米の炊き方研究

▽斯して喰へば美味い
石油臭かつたのは昔の事　糯米を三割混ぜれば理想的

從來外國米と云へば石油臭いものとして一概に擯斥されたものであるが、外米の石油臭いのは外米其ものは臭くも何ともない、明治廿七八年頃に

◆輸入した　外國米の麻袋は石油を液に塗つて織出したものであるためにその臭氣が作なつたのであつた、けれども近來は他の油を用ふるやうになつたから石油の臭氣が全くない、外米に馴れない日本人に取つては外米だけを飯に炊いては食ふのは一寸苦痛であるかも知れぬが內國米中に三割位の外米を混入するならば日本米だけの飯と左して

◆味に於て　變りはない、特に少量の糯米を混合すれば申分のない味が出る、尙ほもつと經濟的にたかうと思ふならば外米七割に糯米三割を混用するか、外米四割に內地米四割麥二割を加へて炊くがよい、それから外米は內地米よりも釜殖ゑがする、之を炊くには先づ米を水洗して一應水に浸し置き煮ゑ立つた時糊を外部に吹き出さないやうにすれば

◆甚く粘氣　を失ふことはない、尙ほ外米は內地米より乾燥の度が高いから內地米を炊く時よりも一割五分位水加減を増す必要がある何うしても外米飯は粘氣が薄く冷ゐるとパサ〳〵つくから温かい內に食ふに越したことはないけれどもさうかと云つて其含有滋養分が決して內地米に劣つてる譯ではない、試みに今東京帝大

◆農科大學　で分析した成績を示せば左の通りである

米種	水分	蛋白質	脂肪
內地米平均	二〇、一三	六、七八	〇、二九
蘭貢米	二三、三五	六、四〇	〇、三一

最後に外米混用の經濟的關係を見るに、一日二升宛たく家庭が三割に內外米を混用するとして、假りに內地米は一升四十錢、外米が十五錢とすれば一日十二錢の經濟で一升三十四錢の米を食ふ譯で而も滋養分に變りがないとすれば大家族で之を喰はぬ人は米價が高いなど不平を云ふ義理はない

◎內地大豐作
農家活氣付く　凶作で有名な東北地方でも漸く穗を出した

內地本年の米作に就き專門家は語つて曰く除いては先づ昨今の天候を以てすれば本年の米作は大正五年の未曾有の大豐作を

◇玆數年間に　於ける豐作と豫想せられる、昨年麥の植付が十日許り遲れた爲從つて稻の植付も十日許り遲れてゐるが幸ひに豐作照りが續いて發育も非常に宜しい、殊に最近米價が破天荒の暴騰を示したので農家は非常に活氣付き高い肥料をもどし〳〵買込んで施したから發育は彌が上に良いやうである、今日迄のところでは各地とも良好で凶作で有名な東北地方も既にポツ〳〵穗を出してゐる相であるから先づ豐作だと思はれる、夫れに

へ蟲害が割合　に少く昨今時々來る夕立は米作には持つて來いでザッと豪く夕立すれば浮塵子なぞは忽ちに叩き落されてお誂へ向である、涼しいのは困るが曇り勝でない限り暑いのは米作に何の障りも無い既に施肥期も過ぎて各地とも最早穗の出るのを待つ許りとなり此先は天運に任すより外はないのであるが二百十日二十日の厄日近くに荒れるか若くば早く冷立つか旱魃の憂ひのない限り昨六年度よりはズットよ

◇豐作請合で　旱魃などの憂ひも先づ無いと見て差支がないと思ふ、政府の調査に依つても目下の在米は優に千七百萬石はあり新米の出る迄に決して何等の不足を訴へない上に今年の米作が豐作だとすれば米價は三十圓內外に落付いて人民の食糧に對する不安も一掃されることゝ請合だと信ずるのである（東京）

◎埃及まで眞一文字
驚くべき英國飛行機の偉功

英國の軍用飛行機に搭乘して陸軍將校二名と技師二名が英國から埃及まで歐大陸を眞一文字に飛んで無事に着陸したと英國公報は誇張してゐる、機は通常型大飛行機で途中發動機の石油を補充する爲め二回着陸したのみである、此の飛行は一昨年佛軍が獨逸本國を飛び越えて墺國陣地に飛んだのと、伊太利から郵便物を搭載して英本國へ一氣に飛んだのと其の功を競ふ可き記錄的大飛行として世界の注目を惹くものであらう

◎松竹が……新派劇壇
の振興を圖る

來る可き新秋に當つて新派劇壇に非常な動搖があるらしい彼の松竹の手に屬して興行と維持に安定を得たる松井

◆須磨子　は九月上旬先歌舞伎座出演と決定し上場狂言は沈鐘なるべしとの事で河合と須磨子との合同は見合せとなつた伊井、河合、喜多村は九月地方巡業をなし十月東京で高田實の遺子百を加入させて出演するそして多分高田

◆追善劇　といふ名で新富座で開場することにならうと又井上、深澤、木下一派では後藤良助外二三が加入して九月は地方巡業に出かけ十月は東京に歸り伊井等に對抗すべき模樣がある、何れにしても松竹が新派の振興を計畫してゐるのは

◆隱なき　事實で松居松葉氏の松竹入社も新派の爲になさんとする先驅であるらしい猶高木德子は赤阪のローヤル館を九月から一個年借受け歌舞劇協會として毎月新しい狂言を見せるとの事だ（東京）

★李花の譽れ★（四）
李王世子殿下御精勵の事共

李王世子殿下、酷熱石を爍かす時、刻苦精勵軍務にいそしみ給ふ。則ち側近の士に就いて寧さに御近況を承はる（東京支局）

▽コ殿下と御會話
★音樂に御堪能
學習院教官　黑川越太郎氏談（下）

本科御卒業後六月より十一月までは豫備で居られたが其折は御學問の御相手は不肖一人であつたが、十二月の始め陸軍士官學校へ御入學後は同校教官の上田氏と米國人ウオルター氏と三人で御指導のこととなつた、此當時は週に五時間を語學に費されてゐた御卒業の後は復不肖一人にて御教導の任に當り遂に今日に及んだのである、しかし目下の嚴暑の候でもあり、また先月より軍隊の御勤務にて彼地此地と御從軍の爲め御休み申し上げてゐるが、九月よりは復參邸の豫定である、尤も參邸するのは一週の內の一日ではあるが其二時間といふものは熱心に御勉强あらせらるゝのである、御在學の當時も暑中休暇中は鎌倉へ水泳に御出かけになつてゐたが其折などは不肖より通つて御指導申し上げてゐた、殿下には又それを大に喜ばれた、夫程迄に御熱心であらせらるゝ爲御進歩の程も日に月に著るしく目下に於ては各國使臣等との御面接に於ても見事なる御會話を遊ばさるゝ樣にお成り遊ばしたのである、先般も英國コンノート殿下の御出の節も御會話遊ばされた由で、斯る實地御會話の機は日を追ふ毎に多くなるべくさすれば此方の御進歩は一入の事と思ふ。殿下に於て最も感じ申すべきは御發音であつて、これには幼年學校時代より殿下に並ぶ者はない位であつた、和文英譯等も決して他の學生に劣られる事はなかつたが今日に於ては讀書力も非常に進まれたのである、しかし此の方には猶殿下にも特に御勉强あらせられつつある。先づ語學御研究の事に就ては以上の如くであるが殿下には御理解力甚だ强く一を知り十を悟るといふ如くである、又常に御機嫌麗しく聊かも御不機嫌の態を拜しないのは日頃の御修養もさることゝ思はれる過ぎつる年丁度御大禮の終つた直後の事で京の御所拜觀に殿下の御供を拜して彼の地に赴いた時の事である、京都ホテルで思ひ設けぬ御厚遇を蒙り恐縮身の置き所を知らぬ有樣であつたが後日承はれば殿下には『師と共に旅行する愉快さは何物もしかず』と仰せられしとか、斯る例は稀ならず實に師に對する尊敬の御觀念の厚さには恐懼置く能はざる次第である、又先般御邸にての御宴終つて皆々退出せんとする折から特に不肖を引留め給ひて御居間に召され御手づから樂を奏でさせられた、其時御居間の裏に掲げられてゐた水彩畫も殿下の御手になりしものであつて實に殿下が何事にも御熱心にして御堪能なるには只々心服の外はないのである（終り）

◎鮮人米屋の値下げ
蓬萊町方面では一升廿八錢五厘

京城にては救濟會主催にて白米の廉賣を始めし爲め忽ち一部の白米商に影響し蓬萊町二丁目の米商李敬瑞同町中泰翊の二店は廉賣開始以來全く客足絶へしより義州通り二丁目の精米業秋洪瑞に其旨を打明けし秋は暴騰以前に石二十七圓の割にて買ひ置きたる二十石の持米あるより之を分つべしとのことに李は十三石を中は四石を引取り十九日朝より兩店共一升二十八錢五厘に賣り出したる爲同方面の鮮人米屋は悉く前記の値段に引下ぐるに至れり

◎又も奸商
不埒な鮮人米屋

鍾路署で取調中

京城鮮人米屋中鮮米に南京米を混入しながら之を鮮米の代價にて賣り捌たる曲者あり鍾路署にて探知し目下三名を引致取調中なるが又此外十七日に朝鮮米一桝（約一升五合）を六十二錢に賣り付けたる者一名あり同人を召喚して戒飭したりと

◎隔世の感
標準米價
明治十七年より三十七年に至る廿一年間

米の高い此節明治十七年以來卅七年に至る白米標準價格を參考の爲め左に掲ぐ

年	一箇年平均一升代
明治十七年	六錢四厘三毛
同十八年	七、五、九
同十九年	六、六、九
同二十年	六、二、一、一
同廿一年	五、七、六、一
同廿二年	七、〇、三
同廿三年	一〇、〇九、三
同廿四年	八、四、九、九
同廿五年	八、二、八、三
同廿六年	八、七、六、八
同廿七年	一〇、三、一、七
同廿八年	一〇、三、九
同廿九年	一一、三、一、七
同三十年	一三、七、一、四
同卅一年	一六、三、八、七
同卅二年	一一、九
同卅三年	一四、四、六、六
同卅四年	一四、七、二、五
同卅五年	一五、三、八、一
同卅六年	一七、〇、九、五
同卅七年上半季	一六、五、六六七

◎午後の間食が食麵麭に
[illegible]雜貨屋の目から見た物價騰貴！

物價騰貴特に米價狂騰についての影響？について本町一流某雜貨店員は語る『午後二時頃から、食パンの御注文が大變多くなりましたこれなどは確かに新しい現象で今迄午後の『おやつ』になさるお菓子がそれに代つたらしいのですね、例へば電話での御注文なれば五十錢ばかりされぬ處、それが、お子樣のためにも好しで斤十二錢のパンになさつた事でせう、大變お考へになつてゐるといふ他の例には、中元贈答の商品切手をお替になにしましても、今迄兎角贅澤品が多かつたものでしたが、昨今ではほんとに實用品、必需品を少々宛といふ樣になつて參つた樣です、そんな處にも考へさせられる事がありますね、何でも昨今は中流の方々が一番お苦しい時ですね』と

◆片山部長の熱心振り
外米は食鹽で磨げ

食料問題といふことは、從來は外國電報でしか聞かれなかつたここで日本には此等の問題は恰も對岸の火災視して居つたが▲こうこう日本にも此火の手燃移つて來た▲各地の暴動は次から次へ盲目的に起つて來る米價は遂に一升五十錢臺を上下するやうになつた▲記者は此等の問題を攜へて片山外米管理部長を木挽町に訪ふ▲部長は書類の堆積された机の前に腰を下してゐたが靜にシガーを燻らし乍ら『今やツと晝飯を終へた所です』と云つて寂しく笑ふ時計を見るとモウ二時半なのである『隨分お忙しうムいませう』と云へば『戰時狀態ですからね』▲……『ナニ外國米だつて日本米とさう違ふ譯は無いさ、臭みは何んですネ米を洗ぐときに一摘みか二摘み食鹽を入れて一緒に洗ぐのですそして炊く時には食鹽は先づあらひ落されて了ふわけです、然うして炊くと些とも臭味が無くなります▲化學的だの物理學的だのといふ作用は何うなるのか知りませんがね兎に角斯く臭くなくなるのは妙です』▲と米を洗ぐ手眞似まで身を動かして說明する熱心さは、又晝飯時も忘れて問題に就いては寢食をも忘れて一生懸命になつてゐられたのには此の熱い頃に氣の毒なやうであつた（東京支局）

◎大尉發狂して我兒を殺す

京都聯隊區司令部附大尉清水千里氏（三九）は昨年精神に異狀を呈せし爲め入院加療其後快癒し居たるも十八日再發し深草の自宅にて暴行を爲し妻に二女の君子を井戸に投ぜよと迫り暴行の際君子は石角にて强か頭部を打ち絶命せり大尉は天理教に凝り過ぎたる結果精神に異狀を來せしものならんと（京都電話）

□救濟會寄附

金二百圓　古城梅溪
金三十圓　福井鐵藏
金百圓　淺野太三郎
金五十圓　久保田虎介
金二百圓　和田常市
金百圓　愛國婦人會朝鮮本部
金十圓　小高はま
金百圓　朴承稷
金百圓　山崎鹿藏
金百五十圓　田村義次郎
金五十圓　黛宇太郎
金百圓　松本卯市
金百圓　田中始一郎
金百圓　西川健次郎
金百五十圓　山口太兵衛
金四十圓　崔順學
金二百圓（本社經由）　小杉謹八
金三百圓（本社經由）　土佐紙株式會社京城支店
金十五圓（本社經由）　森巳三郎
合計金二千九十五圓
累計金一萬五千二十圓也

◇各地の白米
……十九日小賣値段電報……

▲清津　一等白米一升三十八錢
▲釜山　一等標準値三十七錢五厘　又市中商內手堅く一圓五十錢高正米三十四圓五十錢

◎食へぬから監獄へ
行く方が增しだと云ふ憐れな貧民もある　施米所訪問記

第三日目の施米の狀況を見るべく明治町元漢城病院跡に施米所を訪ふ▲『今日はまだ多くありません』と府吏員は施米券十四五枚を繰つて見せて『昨日は今頃までに五六十枚以上でしたらう、〆切迄に百二三十枚に達しましたから……けふのは一昨日施米券を渡した者で昨日迄に來なかつたものですから多くはないでせう、今日のは

△多く家族　の有るもので米五升栗五升の一斗口です』と傍に折柄立合の警官は語る『私は花園町方面を擔任するのですが、私の方の窮民の情態は酷いものである鮮人の如きは一日の勞賃が漸く十錢內外であるのに、それで妻と四人の子の六口を遊して行かねばならないのです。一日に栗の粥一度、それも食べられぬ日があるのですそんなわけで中には、交番へ來て食べられないから、惡い事をなして

△監獄へ行　く方がよい、監獄では三度々々食べさせて呉れるからといふ始末で困らせられる事が屢々です。尙二回目の施米券な請求して置きましたから、明日邊りは、その樣な窮者が救はれるでせう、中には、怠け者で救助に值しない者もありましたが、大體今度の施米は、特に

△鮮人方面　に安心を與へた樣です、これが無かつたならば事によつたかも知れません』と、今村米店から來てゐる番頭は曰く『昨日は怠け者が來て三四人追返しましたよ、けふは少し、暇です……あの鮮人は、ヨンカミがオブツで四人の子供に食はさねばならないのだ相です、大變です』『その指す方には、粟五升、米五升の施米を受けて、はじめてにこやかに『コーマプソー』を繰返して

△子供四人　を後に歸り行く鮮女を見た、受付にはその時、內地人の獨身らしい、五十に近い老婆さんのあはれな姿も見た、その時、今村の番頭さんが『ヨンカミオブツが多いです』といふと、唯かと『ヨンカミが有つたつてこの相場ぢや困るよ』と苦笑してゐた（十九日午前）

讀者文藝（一等には五十錢二等の書籍券を呈す）

▲物は付『辛いものは』
◎大食漢の今日此頃（一等）　京城本町三の八九　紅い鳥
▲姑の苦笑ひ　金二浦　きの字
▲孝行娘の家出の裏面　京城　井上生
▲総母の呉れる菓子　安州　蔣六盧
▲勘忍袋の破除　京城　折重
▲先手の一日　仁川　松洞
▲米の値を聞く居候　京城　金ㇾ林

◎口臭を防ぐ法

隨分美しい顏や、お身なりをしていらつしやるお方でも、どうした手ぬかりか折角の身嗜みをうちこはしてしまふ樣なお口の臭い方があります。かういふお方にお會ひ申すたびにお氣の毒な感じがいたします。ですから、皆樣方に是非おすゝめ申したいのは。お化粧をなさる時……お外出の時でも、お接客の時でも……には、お化粧と同時に必ずお口を綺麗に含嗽することで御座います。一體口中の臭氣と申しますと、その原因によりまして二種に分れてをります第一は間接に內臟の病氣からくる者です。例へば、胃が惡いとか、肺が惡いとかいふ場合で御座います。第二は口中や口のまはりの惡い場合で御座います。これは、齒槽膿漏とか、齲齒とか、慢性口內炎とかいふ場合で御座います。この第一の場合には胃とか肺とかいふその惡い個所を治療すれば、口中の惡臭も自然と消滅します。ところが皆樣方の中で一番多いのはこの第二の直接原因からくるものであります。ですから皆樣方は齒を健全にし、口腔を清潔に保つ爲に、朝起きた時と夜寢る前に、齒科醫學上の模範齒磨として社會から公認されてゐるライオン齒磨をお使ひになることが必要です。かうして平素から齒の衞生に就て注意してをられましたら、齒牙口腔の病氣に罹ることがありませんから、隨つて、口中の惡臭を起すやうなことは斷じてありません。それから、口は臭くはないが口中を一層綺麗にしたい方、既に齲齒のある方、口腔に病氣ある方、或はその他の原因から口の臭い方は、芳香含嗽料として最も評判の高いライオン水齒磨で含嗽をなさることをお勸めいたします。ライオン水齒磨はたつた二三滴で十分制臭の效力をあらはしますから誠に御手輕で御座います。そして、含嗽後の御氣分のさわやかなことは、それはそれは譬へやうも御座いません。なほ、この水齒磨は、さういふ消極的の效力のほかに、積極的に防腐、殺菌、收斂、制酸の諸作用を持つてをりますから、特に食後、寢る前、外出後にお用ゐになれば、口中を清掃し、黴菌の感染を防いで、齲齒及び口腔の諸病を完全に豫防することが出來ます。

謝近火御見舞　龍山元町一丁目
林田虎夫　西島庄助　長房丈作　永田英三　山村悅之助　安藤直敏　宮崎唯雄

各種石鹼製造元　京城元町一丁目　生田組石鹼工場（電話龍山二二六番）

京日案內
▲申込中後途揭載中止の節は料金不返戻　▲六回以上の御申込は特に割引のこと　▲御原稿は返信附にあらざれば御答せず

普通
◎店員一名入用　本人來店あれ　京城府旭町　川西食料店
電話讓物有　御希望の御方は（電話二一〇三番へ）
◎集金員募集　但し市內に身元引受人を要す　南山町一丁目上る　朝鮮及滿洲社

番外
◎陸軍ボイラー　五吋半　六吋　長十七尺舶用品全部付讓りたし希望者は御照會あれ　仁川本町　村谷吉藏本店
借家交換　南大門通三日米商店裏方門口七間奥五間小賣商事務所向[illegible]

舊恩給立替[illegible]　井町一ノ一九八　博多屋本店　長電二五〇番
石版職工二名急入用　直に履歷書送れ　元山幸町　小林石版部
女子原簿係採用す　[illegible]至急送附又は來談せられよ　平壤府南門町　丁字屋洋服店
職工數名募集　但し特種の優待法有本人至急乞來談　平壤府南門町　丁字屋洋服店
時計店員入用　內地人廿五六歲迄時計經驗ある者至急來談あれ　龍山三角地前　西山時計店
恩給立替　金は請求引換に御渡し致します　地方は規定書送呈す　電話二〇一番　京城府若草町郵便ポスト前入　西村商會

りん病ばい毒　患者諸君　京城龍山等各地に僞物有御注意　ロにせドラッグあり御注意　奸商なり
本舖大阪　吉田ドラッグ商會　京城南大門外停車場通　花柳病專門藥房　ドラッグ商會本部

健胃固腸丸　下痢　腹痛
食べ過ぎ、飲み過ぎ、寢冷、水傷時候の障等より起る下痢病と腹痛に偉大なる効驗あり
○常に用うれば消化を能し腸胃を强健にし恐しき流行病惡疫に罹る憂なし
○暑中の衰弱した腸胃には殊更必要なり
○家庭と旅行には必ず常備せらるべし
定價　[illegible]
○各地藥店に販賣す　商標及本舖の名義に御注意あれ
○特に服用易き小粒製の小粒健胃固腸丸あり
○兒童用として小兒固腸丸もあり
大阪市東區伏見町二丁目　本舖　谷回春堂
東京市日本橋區新乘物町　谷回春堂擴張部

妻の心（七十二）

十一の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

『欣一、お前の氣質にも似合はない因循なこつたね。親子三人水入らずの所で、遠慮も秘密もありやしないぢやないか。』と、母は、重ねて叱り付くるやうに詰め寄る。

と、欣一は、詮事なしに顔を擡げて、心持若龍の方へ小聲を捻ぢ向けたが、

『駒さん、わりい事は出來ねねもんだな。』と、頭も尻尾もない長大息。

若龍のお駒は、一入意外の感に打たれた。

『阿兄さん、わるい事つて、お前さん、町川さんに對して、何か私に出來ない事でも仕出來してあるの？』

『大有名古屋さ。阿母さんの前では云ひにくいが……實はね駒さん

僕は直接に町川さんと顔を見合つた事はねけれども、云ふにも云はれねね複雜つた關係があるんだと云ふのは、ね、お前も定めて、聞き及んでは居るだらうが、町川さんが現在妾にして招魂社裏に圍まつて置くお芳と云ふ女は、彼りやつい三年前までは、三崎座に出て居た女俳優で、藝名を市川錦昇さと云つてね、彼の社會では可なり好い役の付いた名代の一人なんだが、笑つちや不可ねよ駒さん、その錦昇のお芳と僕とは、ずつと前からの深間だと思ひなさい。する内に、例の活動だの、連鎖劇だのと云ふ奴が、盛んに跋扈し出して、女俳優の一座なんてものは、から、きり上つたりの時代となつちやつたから堪らないやね、劇場の持主も變れば組織も變る、三崎座の名は、ころころになつて、神田劇場に目指ると云ふやうな譯で、女優連なんてものは、一時何うなる事かと頭痛鉢卷きで居る矢先へ、彼の町川さんの關係して居る蠶山會社の下廻りで、何とやら云ふ男が、かねて女と懇意にして居る處から、それ程生活に困るやうなら、安心で大丈夫な大紳士の妾に世話をしてやらうと云ふ話が持上がり、お芳はまんまとその大紳士のお妾になり澄ました譯だが、それが即ち現代議士の町川久四郎さんなんだから、世の中は可笑なものさ。所で、此方も元々話合ひで別れた仲だから、兎や角の未練は云はねはだが、時々秘密に小使錢を强請りに行く位るが關の山で居たんだが、ね、三度が五度と顔を合せる内には、其處が矢張燒木杭の譬ひでね、假りにも他樣の所有物と知りつゝ、押限昔の撚が戻つて了つた一件だが、考へて見りや、冥利のわりい話さね。何ほ千枚張の僕でも内々は洒氣味わるく思つてる處へ突然實の妹のお前が、その町川さんに落籍されると聞いては、其處に何かの因果か天罰か、含まれて居るやうな氣がせずには居られねと云ふもんだよ。駒さん、事情と云ふのは、雖と先づ斯の通りさ。お前、町川さんの所有物になるのは、勿論結構だけれども、これ丈けの事は、腹の中へ疊んでいて貰はれねね、萬一の時に飛んだ遊びが出來るからね。』と、欣一は、漸う自身の秘密を打明けたのである。

母も若龍も、且は驚き、且は呆れて、少時は、欣一の顔に行列が通るかとばかり眺め入つたが、別けても、若龍は、當面の本人丈に一層神經の或る部分に熾烈なる刺戟を感じた。

『阿兄さんも隨分の罪造る人だわね。併し、過ぎ去つた事は仕方がないとして、他の噂に由ると、そのお芳さんとか云ふ女優上りは、町川さんの胤を宿して、もう五箇月とかになつてると云ふぢやありませんの？』

『うむ、五箇月以上になつてるらしいんだよ。』

『らしいでは有りませんわ。下手をまご付いたら、その小供はそりや、阿兄さんの胤ぢやなくつて……？』

『だから、僕も少しく良心の咎めに堪へられないと云ふてるぢやないか。』

『只、堪へられない丈ぢや濟まないでせう。お芳さんとやらが愈々身二つになつた曉には、貴郎は一體何うする了簡？』

『何うする了簡つて、了簡なんかは何にもないね。町川さんが自分の子と信じてるなら、それで默つて、追つ付けて了ふより外には……。』

『まあ……そんな事が、普通の人間として……。』

若龍は、阿兄の無神經なのにも驚いたが、そのお芳とやらの大膽不敵な了簡には、更に幾倍か舌を卷いたのである。

女子と水泳

子供の心算でやれ＝丈夫になる

年々婦人の水泳が大層流行して來ましたが、ツイ四五年前までは殆ど數へる程で餘り行はれませんでした、夫れと云ふのは元來日本の婦人は外國人と異なつて他人に肌を見られることを大變嫌ふばかりか水泳などするのは如何にもお轉婆の樣に心得て居たのでしたが近頃では世人の考へが變つて女子の體育と云ふことが重んじられるやうになつて女子だと云つて體育に價値があるばかりでなく倫夫の祥なふ

◇**水泳** なれば決して羞耻心を起す必要なく却て奬勵すべきであることの意見が多くなつて來ました、現に上流社會の婦人なども毎年避暑には海水浴を選び其處で盛んに海に親んで體育上の保健に努めて居ますがこれに反し避暑などをする餘裕のない婦人なれば先づ東京なら月島の海岸などは最も安全かと思ひます其處には女子の游泳場もあつて正則に女子の體に適應した方法で教授します最も女子に水泳を

◇**初歩** から教へるには却々六ヶ敷いものであります夫れは女子は一體水に對し恐怖の念が强いからです、初めに海に入つて頭からでも波を被らうものなら最う恐れを抱いて上りたがる者が多いさうですが女子の體には脂肪分が多いから水に浮くことは男子よりも早いのです、最初は成るべく板子を摑ませて叩きから教へるに限るのですが中には妙齢の娘などは此板子を摑ませて游ぐのを耻がつて直ぐ片伸しなどから習ひたがる者もありますが夫は不了簡な考へで初めは矢張り

◇**子供** になつた氣で行けば二三日で泳げる樣になれます、然し敎へる方では子供の方が餘程樂ださうです、女は根が能いから覺ゆるのも早いが男の樣に姿勢が正しくなれません、又女の最も恐れる日に焦けるのを防ぐには白粉を濃く塗つて置くとか朝夕日光の烈しくない時を見計らつて遣れば宜いと思ひます、頭髮に水の入るのを氣にする者もありますが之れには護謨製の海水帽を被り髮を束ねて置けば多少水に浸つても拭き取るのに

◇**便利** です、而し水泳の効能も冷水摩擦の如く二三年續けて行つて初めて効果が現はれて來ます、水泳を行れば第一身體の全部を働かせますから筋肉が發達し健康上には非常に好い効果を與へます、若し水泳を志すなれば監督や敎師が居て女子部の設けある公認水泳場に限ります、此處なれば絶えず看視をして居るから危險がありませんが無暗矢鱈な處へ入るのは危險千萬ですから是れ等の點は十分注意すべきことであります（日本女子水泳正則教授會教師談）

藥湯覇王　浴用人蔘湯　一週分一圓　三週分一圓五十錢　京城府南大門通二丁目　朝鮮化學製藥株式會社　電話一三一六番

日報歌壇

□初秋　紫陽

しんしんと光りあまれる空のなか落つこち來る鶴一羽

しみじみと庭の空地ならしけり今更に草の枯れにけるかも

秋霧の艇子なめぐさ初秋のあはたゞしくもそこに日向葵

若き勤人の歌へる　よし緒

朝顔の朝な朝なに一やうに淋しに咲くがさみしかりけり

なにごとも唯貧しさが悲なりと忍び泣ふかけは悲しも

われのみが獨り殘さる心地してこの淋しさに堪へがたきかも

▲訂正　十八日歌壇阪本氏の歌に誤植あり。『いつのこゝろ』は『いつのこゝろ』『ばかれく』は『わかれく』『山はなし霧に押されて』は『山ばかなし霧に隠れて』に付訂正す

◆初秋の歌を募る

□土用吟（其の四夜）

ビール

歸省の友を夜園に誘ひビール哉　青光雨

人影の灯にまくしビヤホール　春楊

冷むビール上ぐ井戸に灯かた　蘭川子

灯に明か草の蔟纖やビヤホール　草綠

ビール拔いて旅裝のまゝと疲れる　田打夫

夏木立

舟捨てゝ人闊くれる夏木哉　水子

夏木夕井水浴る居る男かな　田打失

秋近

桑園に落つる月や秋近し　紫光

星の下秋近しと知つて歩む　草綠

秋近く水車紡ふ一戸かな　蘭川子

夏服る連夜の集ひ人乏し　橙黄子

向日葵

向日葵や避暑人と又米一車　田打夫

向日葵や鶏こまつて槲粗末　青光雨

向日葵に雨去る園の闃さ哉　紫光

向日葵に鶏飼ふ架橋事務所哉　水子

向日葵や穴居にも劣る作つぎ　橙黄子

（終）

湖南吟社兼題句集

蚤

蚤の居て寂れし旅を詳く脚絆　桃雨

新聞に蚤飛んで來し燈下哉　犀涯

轉寢の惡夢より醒めて蚤の痕　有漁

珠數の手に蚤捨てに立つ法座哉　車窓

伏して見る句集の上に蚤飛べる　芦雪

蚤拂へば我に返りて胸の垢　喜岸

寢もやれず文書くも蚤、蚤の宿　淡[illegible]

蚤燒くや宮樽に咿らき燈の雨　老城

脚氣少しく怠る朝や小蚤飛ぶ　鶴城

蚤に寢られぬ夜も在しけん奥の旅　天南

世を衒ふ老師の師、睡い蚤　三御

蚤飛ぶや昼の睡へ目まぐるし　不二

寺に賜はる御内帑金や蚤の宿　芸峯

借布團に寢にくき夜半や蚤の痕　露月

眼脂に盆る母の眼鏡や蚤逃す　園月

小屋陰や居眠る犬に蚤多し　燈月

蚤に寢ぬ家の朝月や早立てり　紫舘

蚤責めて徒側なりしやがて眠つく　待松

そこはくの賽金や蚤肌衣　倭骨

板の如きつふれ鼠や蚤の宿　風骨

夏の海

夏の海朝凪を走る帆立貝　桃雨

岩座分けて釣人親し夏の海　犀涯

漁師町の網つくろひや夏の海　有漁

耶寸積んで鉄舶出たり夏の海　車窓

夏の海に開け放したる二階哉　芦雪

魚寄す汐に幾日盈りや夏の海　喜岸

肌黒き島の乙女や夏の海

動員に島の嶮や夏の海

佛彫る家に凪なし夏の海

守る舘靜や夏の海

龍頭の船に揭弓や夏の海

浦汐より渡り鳥かな夏の海

島凪の旗吹く風や夏の海

旗亜の舶に見し夏の海風けり

磯松の浪霜れ枝や夏の海

砂草の花淋しさや夏の海

大漁の幟立てゝ陸揚夏の海

夏海は涼味を寄すや望海樓

夏の海汐引き殘る岩の鹽

次回課題『寛介鳥』『施米』各三句吐八月二十七日〆切　大田春日町一丁目森川桃月氏宛投稿の事

○課まれた海水浴法（[illegible]）八月一日[illegible]單に[illegible]避暑[illegible]ふの効力がある[illegible]で醫學博士北興吉氏は避暑する人への注意及避暑地生活の非衛生的事項を列舉し[illegible]醫學士は『避暑容顔』に避暑地に於ける人への一大注意を發表した[illegible]林毅陸氏のアエツケ民族興亡論等時事問題や中田社長の『綜合力主義』新渡戸博士の『形式打破論』『對水界の大競爭』等の論潮を記事が満載す

讀者の領分

▲京城の北部に一家をなし其後明に不歸の身にありながら如何なる前世の因果か[illegible]や私子の十四五歳の長女が虐待し其死する日を今か今かと待ち居る有樣世間では皆惜しまするところとなつて居る位物さは誅々與へず衣類などは[illegible]火繁い樣に拼せ衰へさても此まゝ捨ておかば死する事明なり心ある友人あらば一日も早く長女を助け鬼夫婦に注意を與へなければ遠からず刑事問題となるのこと明なり助けよ此可憐の少女を（傷夫婦）▲五六年以前開城の早く早く（傷夫婦）▲五六年以前開城の郵につうさ云ふ人が居られましたが其後は如何なさいましたか御存じの方は本欄へ御通知下さいませ（〇〇女より）▲去る十五日早朝に水の際探約一尺五寸程の鐵拾ひ取り弊所に保管し明治町交番所に屆出たり遺失者は至急受取られたし（明治町佐藤病院）▲老人を名出より流るゝ大下水道及び櫻川等な流する大下水道若草町大下水等は大々的改築をせれば幾度姑息なる修築しても毎年水害は免れざる可し昔よりは薄輸は細く淺くなりし爲め毎年損害を受けるもの之知るべし（一老人）

山縣五十雄村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替京城三〇〇　京日代理部

贊化病院　京城明治町一丁目　電話二四番　醫學博士古城憲治　内科　小兒科　入院隨意　無料施療す　每日五名を限り

イケダ小兒内科醫院　池田季雄　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目電話（醫院二三四番　自宅三〇〇〇番）

酒井婦人病院　院長酒井一郎　京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）電話一八番　二六〇〇番

パイン萬年筆

吹きに商品を聽するにこの邊まで詐張を要すかパイン萬年筆に就ては一語の[illegible]を要せず萬年筆として備ふべき一切の効能と特徴とを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を[illegible]るべし

萬年筆使用の快味を知らむとせば先づパイン萬年筆あることを御記憶[illegible]

最新縁出式　六圓八十錢　銀行模樣附　四圓九十錢　實業及學生用　三圓八十錢　ビジネス事務用ペン　二圓八十錢　一圓九十五錢

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番